

令和4年度  
教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価に関する報告書

(令和3年度事業)

令和4年10月

向日市教育委員会

## 目 次

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動状況	2
III	事業評価シート（令和3年度事業）	9
	(事務事業番号)	
1	「質の高い学力」をはぐくむ教育の推進	10
2	豊かな人間性をはぐくむ心の教育の推進	14
3	たくましく健やかな身体をはぐくむ教育の推進	17
4	一人一人を大切にし、個性や能力を伸ばす教育の推進	21
5	安心・安全な教育環境の充実	24
6	学校の教育力の向上	30
7	生涯学習環境の充実	34
8	家庭・地域社会の教育力の向上	45
9	安心して産み育てる体制づくり	48
10	スポーツの振興	51
11	多様性を認め合う社会の実現	54
12	歴史・文化資源の整備と活用	56
IV	外部評価委員の総評	62

## I はじめに

### 1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされております。

また、点検及び評価を行うに当たり、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとしてされております。

このため、本市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民の皆様への説明責任を果たすため、事務事業の実績について取りまとめ、成果や課題について検証しました。

また、学識経験者である市教育委員会外部評価委員の方のご協力を得て、様々な意見・助言等をいただきましたので、その結果を報告します。

### 2 点検・評価の対象及び方法

教育基本法第17条第2項に基づく、本市における「教育の振興のための施策に関する基本的な計画」と位置づけている「第2次ふるさと向日市創生計画」で定める重点施策や取組事業を踏まえ、主要な12施策45事業を外部評価対象事業とし、委員の方から施策ごとに様々な意見・助言等をいただきました。

なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、社会教育施設の臨時休館とともに、各種事業の中止や縮小を余儀なくされ、令和2年度同様、例年とは異なる事務・事業の執行状況となりました。

#### (1) 点検・評価委員

氏名	役職等
前坂 あや子	元高知県教育委員会事務局就職アドバイザー
松宮 功	元大阪国際大学短期大学部教授

#### (2) 点検・評価会議開催状況

第1回点検・評価会議（令和4年7月26日開催）

第2回点検・評価会議（令和4年7月28日開催）

第3回点検・評価会議（令和4年9月12日開催）

## II 教育委員会の活動状況（令和3年度）

### 1 教育委員会構成員

役職	氏名	就任日	任期満了日
教育長	永野 憲男	平成27年7月1日	令和6年6月30日
教育長 職務代理者	松本 克彦	平成20年10月1日	令和6年9月30日
委員	流石 智子	平成27年10月1日	令和5年9月30日
委員	中野 緑	平成30年10月1日	令和4年9月30日
委員	畠山 亮	令和3年12月10日	令和7年12月9日

#### （1）教育長の異動

令和3年6月30日で永野教育長が任期満了となり、7月1日付けで再任された。

#### （2）委員の異動

令和3年12月9日で白幡教育長職務代理者が任期満了となり、松本委員が12月10日付けで教育長職務代理者に指名された。

令和3年12月10日付けで畠山委員が任命された。

2 教育委員会の開催状況 16回

回	開催日	時間	付議案件等
令和3年 第6回	4月28日(水)	午前9時30分～ 10時55分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会における新型コロナウイルス感染症対応について（令和2年2月～令和3年3月）</li> <li>・向日市立小中学校トイレ改修工事について（報告）</li> <li>・向日市立第2向陽小学校の校舎の緊急修繕工事について（報告）</li> <li>・臨時代理について（社会教育委員の委嘱について）</li> <li>・令和3年度「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」参加校について（報告）</li> <li>・令和3年度小中学校の主な新規事業等について</li> </ul>
第7回	5月21日(金)	午前9時30分～ 11時20分	<p>【議案第9号】 向日市議会令和3年第2回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度向日市一般会計補正予算について</li> </ul> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会における緊急事態宣言に係る対応について（令和3年4月25日～5月31日）</li> <li>・向日市立小中学校内壁劣化調査結果について（報告）</li> <li>・令和3年度向日市放課後児童クラブ入会児童数について</li> <li>・学校訪問について</li> <li>・令和2年度いじめ調査の概要について</li> <li>・令和2年度不登校の状況について</li> <li>・令和3年度向日市立小中学校指定事業について</li> <li>・システム入れ替えと蔵書点検に伴う臨時休館について（報告）</li> <li>・年間入館者数等について（図書館・天文館・文化資料館・文化財調査事務所）</li> </ul>
第8回	7月2日(金)	午前9時30分～ 10時55分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・向日市議会令和3年第2回定例会一般質問答弁要旨及び総務文教常任委員会質疑について</li> <li>・教育委員会におけるまん延防止等重点措置に係る対応について（令和3年6月21日～7月11日）</li> <li>・令和3年度向日市立小中学校内壁・天井改修及び外壁塗装等改修工事について</li> <li>・向日市立勝山中学校における電気ボックス内のショートについて</li> <li>・第4向陽小学校における「通学区域の弾力化制度一時停止」にかかる意見募集について（報告）</li> <li>・中学校給食に関するアンケートについて（報告）</li> </ul>

回	開催日	時間	付議案件等
第9回	8月18日(水)	午前10時00分～ 12時00分	<p>【議案第10号】 令和4年度に使用する中学校教科用図書の採択について(追加分)</p> <p>【議案第11号】 令和4年度に使用する学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について</p> <p>【議案第12号】 第4向陽小学校における「通学区域の弾力化制度一時停止」について</p> <p>【議案第13号】 向日市議会令和3年第3回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧上田家住宅の設置及び管理に関する条例の制定について</li> <li>・令和3年度向日市一般会計補正予算について</li> <li>・令和2年度向日市一般会計決算について</li> </ul> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度向日市留守家庭児童会夏季入会児童数について</li> <li>・令和3年度中学校総合体育大会結果について</li> <li>・国際シンポジウム「20世紀の和紙－寿岳文章 人と仕事－」について</li> <li>・教育委員会における新型コロナウイルス感染防止対策について(報告)</li> </ul>
第10回	9月28日(火)	午前10時00分～ 11時35分	<p>【議案第14号】 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について</p> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・向日市議会令和3年第3回定例会一般質問答弁要旨及び総務文教常任委員会質疑について</li> <li>・通学区域並びに就学すべき学校の指定に関する取扱い要領の一部改正について(報告)</li> <li>・向日市中学生大会(第17回向日市中学生弁論大会及び第18回向日市中学生英語スピーチ大会)について(報告)</li> </ul>
第11回	10月26日(火)	午前10時00分～ 10時40分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際シンポジウム「20世紀の和紙－寿岳文章 人と仕事－」について(報告)</li> <li>・旧上田家住宅の設置及び管理に関する条例施行規則(案)の制定について</li> </ul>
第12回	11月16日(火)	午前10時00分～ 10時25分	<p>【議案第15号】 向日市議会令和3年第4回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度向日市一般会計補正予算について</li> </ul> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度向日市中学生大会(弁論大会・英語スピーチ大会)の結果について(報告)</li> </ul>

回	開催日	時間	付議案件等
第13回	11月29日(月)	午前10時00分～ 10時40分	<b>【報告事項】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度向日市立小中学校内壁・天井改修及び外壁塗装等改修工事について</li> <li>・令和3年度向日市立小中学校における体育大会の実施状況について</li> <li>・令和3年度向日市立小中学校の修学旅行等宿泊を伴う学校行事の実施状況について</li> </ul>
第14回	12月10日(金)	午前9時15分～ 9時25分	教育長職務代理者の指名について
第15回	12月23日(木)	午後3時00分～ 4時45分	<b>【報告事項】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・向日市議会令和3年第4回定例会一般質問答弁要旨及び総務文教常任委員会質疑について</li> <li>・令和4年度通学区域の弾力化制度実施結果について(報告)</li> <li>・通学路における合同点検について(報告)</li> <li>・令和4年度向日市の教育(指導の重点)の改訂について</li> <li>・第10回子ども読書本のしおりコンテストについて(報告)</li> <li>・令和3年度人権擁護啓発ポスターコンクールについて(報告)</li> <li>・令和3年度全国中学生人権作文コンテスト京都大会について(報告)</li> <li>・第20回小中学生読書感想文コンクールについて(報告)</li> <li>・特別展「日本画家・六人部暉峰の世界」の実施について(報告)</li> </ul>
令和4年第1回	1月26日(水)	午前9時30分～ 9時50分	<b>【報告事項】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・向日市立小中学校外壁劣化調査結果について(報告)</li> </ul>
第2回	2月15日(火)	午後3時00分～ 5時25分	<b>【議案第1号】</b> 向日市議会令和4年第1回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度向日市一般会計補正予算について</li> <li>・令和4年度向日市一般会計予算について</li> </ul> <b>【報告事項】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度向日市の教育について</li> <li>・中学校給食に関するアンケートについて(報告)</li> <li>・令和3年度第2回いじめ調査の概要について</li> </ul>
第3回	2月26日(土)	午前10時00分～ 10時30分	<b>【議案第2号】</b> 人事案件について

回	開催日	時 間	付議案件等
第4回	3月4日(金)	午前10時00分～ 10時45分	【議案第3号】 令和4年度 向日市の教育について
第5回	3月22日(火)	午前10時00分～ 10時35分	【議案第4号】 向日市スポーツ推進委員の委嘱について 【議案第5号】 人事に関するることについて
第6回	3月29日(火)	午後1時15分～ 1時35分	【議案第6号】 向日市教育委員会公告式規則の一部を改正する 規則について 【議案第7号】 向日市立学校の管理運営に関する規則の一部を 改正する規則について

3 教育委員会委員の主な活動（教育長のみが出席したものを除く）

（1）教育委員会関係行事への参加

- 近畿市町村教育委員会研修大会
- 長岡宮跡・旧上田家住宅整備工事竣工式
- 成人式

（2）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった教育委員会関係行事及び規模縮小より不参加となった活動

- 小中学校入学式・卒業式
- 小中学校訪問
- 小中学校体育大会
- 中学生弁論大会
- 小学生夏休み作品展
- 中学生美術展・書道展
- 小学校陸上運動交歓記録会
- 小中学校公開授業、研究発表会
- 中学生英語スピーチ大会
- 乙訓地方小学生駅伝大会
- 京都府立向陽高等学校入学式・卒業式
- 京都西山高等学校入学式 ほか

（3）研修・協議会等

- 乙訓教育委員会連合会教育委員研修会（オンライン）
- 乙訓教育委員会連合会定期総会（書面）
- 京都府市町村教育委員会連合会定期総会（書面）
- 京都府内市町（組合）教育委員会研修会（オンライン）
- 乙訓地区小中学校使用教科用図書採択協議会（第1回のみ書面）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった研修会

- 京都府市町村教育委員会連合会研修会

4 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設の臨時休業及び施設貸出中止期間

- 文化資料館 令和3年4月25日（日）～5月11日（火）臨時休館
- 天文館 令和3年4月25日（日）～5月11日（火）臨時休館
- 地区公民館 令和3年4月25日（日）～5月11日（火）会議室貸館中止
- 文化財調査事務所（史跡長岡宮跡朝堂院公園案内所）  
令和3年4月25日（日）～5月11日（火）臨時休業

○学校等開放

・小中学校体育館・小学校グラウンド

令和3年4月25日（日）～6月20日（日）貸出中止

令和3年8月17日（火）～9月30日（木）貸出中止

令和4年1月27日（木）～3月21日（月）貸出中止

・向日町競輪場

令和3年4月25日（日）～6月20日（日）貸出中止

令和3年9月13日（月）～9月30日（木）貸出中止

○市民体育館

令和3年4月25日（日）～5月11日（火）臨時休館

令和3年5月12日（水）～5月31日（月）土日は臨時休館

### Ⅲ 事業評価シート（令和3年度事業）

施策番号	1
施策名	「質の高い学力」をはぐくむ教育の推進

施策の基本方向  
「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、質の高い学力をはぐくむ教育を推進する。

事業名	研究指定
事業概要 実績	<p>○各学校は、京都府教育委員会や京都府乙訓教育局、本市教育委員会の研究指定を受け、児童生徒の実情に応じて実践的に授業改善や学習環境の整備等を行い、学力向上に取り組んだ。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、公開授業は中止した。</p> <p>○「GIGAスクール構想」に基づき、児童生徒に1人1台タブレット端末が整備されたことを受け、GIGAスクールプロジェクトチーム（PT）会議を開催し、タブレット端末を使った効果的な実践について交流・協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 小中学校における1人1台端末の活用について</li> <li>・第2回 ① 京都府教育委員会開催のICTリーダー研修の報告 ② 1人1台端末活用実践交流</li> <li>・第3回 ① 京都府教育委員会開催のICTリーダー研修の報告 ② 令和4年度導入予定の授業支援ソフト及びデジタルドリルについて</li> </ul> <p>○各学校では、各教科等の授業の中で、インターネットを活用した調査活動はもとより、知識・技能の習得や話し合い活動の場面において、配付されたタブレット端末を活用し、学習活動の充実を図った。また、コロナ禍において、長期間自宅待機する児童生徒に対して、授業をライブ配信した。</p> <p>＜タブレット端末を活用した授業例＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科や総合的な学習の時間において、インターネットを活用した調査活動（小・中学校）</li> <li>・教科書に記載されているデジタル教材（動画や音声）の活用（小・中学校）</li> <li>・理科において、植物を観察する際、日々の変化を画像に記録、考察時に活用（小学校）</li> <li>・体育時に自らの走り方、跳び方、演技等の動画に記録し技術の向上に向けた手立てとして活用（小・中学校）</li> </ul> <p>○文部科学省指定「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全小中学校</li> </ul>

	<p>○京都府教育委員会指定「未来の担い手育成プログラム研究校」・向日市教育委員会指定（3／3）※指定期間3年中3年目を示す。以下同じ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寺戸中学校</li> </ul> <p>「仲間とつながり、目標に向けて支え合いながら取り組める生徒集団の育成」</p> <p>○京都府教育委員会指定「絆の作り手育成プログラム研究校」・向日市教育委員会指定（1／3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5向陽小学校</li> </ul> <p>「自己有用感をはぐくむ教育活動の推進」</p> <p>○京都府教育委員会指定「学びの深化プロジェクト実施校」・向日市教育委員会指定（1／2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝山中学校</li> </ul> <p>「新学習指導要領が目指す『主体的・対話的で深い学び』がある授業」</p> <p>○京都府教育委員会指定「C B T調査システム構築・活用実証研究」（1／2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第6向陽小学校</li> <li>・勝山中学校</li> </ul> <p>○京都府乙訓教育局指定「OASIS校」・向日市教育委員会指定（1／1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3向陽小学校</li> </ul> <p>「『わかる！』『できる！』『つながる！』必然性のある学びの創造」</p>
担当課	学校教育課

事業名	学力テストの実施
事業概要 実績	<p>○各種学力テストを実施し、各学校は児童生徒の学習の定着状況を把握するとともに結果を分析し授業改善につなげた。</p> <p>（向日市）標準化された学力テスト（CRT） 小学4年生～中学3年生  （京都府）学力診断テスト 小学4年生、中学1年生、2年生  （文科省）全国学力・学習状況調査 小学6年生、中学3年生</p>
担当課	学校教育課

事業名	子ども未来づくり支援事業（体験活動）
事業概要 実績	<p>○児童生徒の体験活動</p> <p>各学校においては、それぞれの学校の実態や地域の特色を踏まえ、伝統や文化についての児童生徒の体験的な学習や、知的好奇心を育む学習などを実施した。</p> <p>（目的別体験活動件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上（習字、プログラミング 法教育など）</li> </ul> <p>9件（小学校 9件、中学校0件）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動（農業、栽培、剪画など） 7件（小学校 3件、中学校4件）</li> <li>・伝統文化（琴、しめ縄、竹細工など） 12件（小学校10件、中学校2件）</li> <li>・健康安全（防煙、いのちの学習など） 4件（小学校 1件、中学校3件）</li> </ul>
担当課	学校教育課

### 施策の成果と課題

#### 【成果】

○小学校では新学習指導要領全面実施の2年目、中学校では全面実施の年となり、各学校では、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善に向け、児童生徒の実態に応じた研究テーマを設定し、効果的な指導方法や指導体制を工夫するなど研究を進めた。

○ICT環境の整備により、学習の基盤になる資質、能力の確実な育成に向け、授業改善に取り組んだ。

○2年ぶりに実施された全国学力・学習状況調査や京都府学力診断テストについて、結果を踏まえ教員は把握した学力課題等について各校内研修において共有し、授業改善につなげた。

○各学校は、児童生徒の体験活動について、コロナ禍における感染状況を考慮し、計画を中止することもあったが、対策を講じつつ可能な限り実施することができた。

#### 【課題】

○各学校が研究指定を受けて取り組んでいる研究について、コロナ禍で授業を公開することや外部講師を招聘することが難しく、また、成果について普及させる場が限定されている。今後、校内において研修を一層充実させるとともに、成果の普及方法について検討する必要がある。

○各学力テストの結果は各教科とも概ね国や京都府平均であったが、文部科学省の英語教育実施状況調査において中学3年生の英語力が不十分であった。小中学校における外国語教育の質の向上を図るため、まずは教職員対象の研修会を実施し、学習指導要領の趣旨理解とともに授業力の向上を図る必要がある。

○新学習指導要領の着実な実施に向け、中学校ブロック毎に9年間の義務教育で育成する児童生徒像について協議し、指導する全ての教員が児童生徒に身に付けさせたい力を意識した授業改善を進める必要がある。また、不登校児童生徒の状況や手立てについて、情報連携を継続させる必要がある。このため、感染状況を注視しつつ小中連携や小小連携による児童生徒の実態に応じた授業改善の具体的方策や不登校児童生徒への支援の在り方等をテーマとした合同研修会を実施する必要がある。

○ICTを活用した授業改善の進捗状況については、教員間や学校間において差があるため、プロジェクトチーム会議を一層活性化させ、すべての指導者において改善が図られるよう努めたい。

○各学校においてはコロナ禍における教育課程を編成する際、1学期に修学旅行等が実施できなかった場合2学期への延期を想定している。そのため、年度当初に計画していた体験活動等の計画を中止するケースが見られることから、体験活動の日程調整について複数の候補日を準備しておく必要がある。

また、中学校においては、コロナ禍における職場体験活動の在り方について検討する必要がある。

#### 外部評価委員評価及び意見等

○GIGAスクール構想の下に整備されたタブレット端末を活用することで、学習課題や学習活動に応じて、子ども自身が主体的に情報の収集、整理、分析をしたり、振り返りをしたりするなど、様々な学びが可能になり、また、教員の指導力向上につながっており大変評価できる。教育におけるICTの効果的な活用を通じて、一層子どもたちの学習活動が充実されるよう期待する。

○「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善に向け、ICTの活用に教員が一丸となって取組み、協力し合って一層の学力向上に努めてほしい。

○研究指定について、児童生徒の実態に応じた研究テーマを設定し、実践的に授業改善に取り組むことで、学力の向上につなげることができ評価できる。

施策番号	2
施策名	豊かな人間性をはぐくむ心の教育の推進

<p>施策の基本方向</p> <p>豊かな情操や道徳心を培い、正義感や責任感、規範意識、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度、前向きに挑戦しやり遂げる力など、豊かな人間性や社会性の育成に努める。</p>
---

事業名	「特別の教科 道徳」実践交流
事業概要 実績	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響により参加者を各校1名としたが、参加者は公開された授業を参観し、事後研究会において授業改善の視点を明確にした協議を行った。</p> <p>・授業公開 向陽小（5年3組）        主題名 温かな思い(内容項目 B親切、思いやり)        教材名 「くずれ落ちただんボール箱」</p>
担当課	学校教育課

事業名	ふるさと学習
事業概要 実績	<p>○各学校では新型コロナウイルス感染症の影響により校外での体験活動や地域の方々との交流が制限されたが、コロナ禍での教育課程に位置付け感染状況に応じた対策を講じ実施した。</p> <p>○小学校では生活科や社会科と関連させ、総合的な学習の時間に実施した。</p> <p>1年生・2年生：「向日市にふれる」町探検(校区の公園や図書館等の見学)を通した学習</p> <p>3年生・4年生：「向日市を知る」特産物(なす、たけのこ等)や校区内の特色(お寺・踊り等)についての学習、簡単な歴史についての学習</p> <p>5年生・6年生：「向日市を学ぶ」農作物や歴史・文化等についての学習</p> <p>※特徴的な取組</p> <p>・5向小        京都府教育委員会 「絆の作り手育成プログラム研究指定校」        (令和3年度・令和4年度)</p> <p>対象：6年生        学習：向日市の魅力について(向日市文化資料館見学、市職員からの講演や同職員への学習内容の発表などの交流、文化財や自然などの魅力について発信する内容や方法の検討、模擬発表)</p>

	<p>○中学校では総合的な学習の時間において実施した。</p> <p>勝山中 1年生：特産品である「竹」について調べ学習を行い、講師を招聘し竹細工の制作を行った。</p> <p>西ノ岡中 2年生：「向日市の特色」についての調査・研究を通して、「ふるさと紹介新聞」にまとめた。</p> <p>寺戸中 2年生：ふるさと向日市腕試しテストに向けて向日市の歴史や地理等について学習を行い、過去問題を解く等知識を獲得した。</p> <p>全中学校：ふるさと向日市腕試しテスト受検（勝山1年生、西ノ岡2年生、寺戸2年生）</p> <p>○ふるさと学習成果展</p> <p>児童生徒が地域ならではの特色に関心を高め、ふるさとへの愛着を育むとともに、授業で取り組んだ学習成果（新聞、竪穴式住居模型等）を校外に展示し、本市の特色ある教育活動を広く市民に知ってもらい、本市への関心を高める機会とした。</p> <p>日 時 令和3年12月22日から令和4年1月16日まで</p> <p>場 所 文化資料館 ラウンジ</p> <p>参加校 第2向陽小学校、第3向陽小学校、西ノ岡中学校</p>
担当課	学校教育課

事業名	情報モラル教育
事業概要 実績	<p>○情報モラル教育の充実</p> <p>各学校では特別の教科 道徳や学級活動等において、インターネット上の誹謗中傷やいじめ、個人情報の流出やプライバシーの侵害、有害情報やウィルス被害に巻き込まれるなどの問題の未然防止として、具体の被害を例示しながら対策や対応等について知識を習得させるなど、情報モラル教育を充実させた。</p> <p>&lt;企業との連携&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3向小 6年生 10月（eネットキャラバン）</li> <li>・ 4向小 6年生 12月（KDDI）</li> <li>・ 5向小 5年生 11月（LINE） ※オンラインで実施</li> <li>6年生 8月（NTT）</li> <li>・ 6向小 6年生 12月（NTT）</li> <li>・ 勝山中 1.2年生 6月（KDDI）</li> <li>・ 西ノ岡中 1年生 7月（KDDI）</li> </ul>
担当課	学校教育課

## 施策の成果と課題

### 【成果】

○2年ぶりに開催した小中学校道徳実践交流会では、小学校教員による特別の教科道徳の授業を各学校の教員が参観し、新学習指導要領で示される「考え、議論する道徳」を踏まえた授業改善についての協議を通して授業改善の視点を明確にすることができた。

○5向小では京都府教育委員会から2年間の指定を受け、向日市の文化財を題材として課題解決型学習に取り組み、ふるさと向日市への関心を一層高めることができた。

○ふるさと学習成果展では、市民から「竪穴式住居の模型を見たが、正確に作られていて素晴らしい。」などの声を聴くことができ、児童生徒のふるさと学習の成果について広く周知することができた。

○全児童生徒の発達段階に応じ、授業での指導はもとより学級活動等において、新学習指導要領で学習の基盤となる資質・能力の一つとして位置付けられた、情報活用能力（情報モラルを含む）の育成を図ることができた。

### 【課題】

○「特別の教科 道徳」に係る指導と評価については、各学校において今後も研修を深め、適切な評価を行うとともに、児童生徒や保護者への説明に努める必要がある。

○スマートフォンやSNSの利用が低年齢化する中、これらの利用を巡るトラブルが見られたため、各学校は、実態に応じて利用について家庭と一層連携を図るとともに、安心・安全な利用について企業等と連携した指導を継続させる必要がある。

## 外部評価委員評価及び意見等

○ふるさと学習について、小学校では、低学年から向日市の特産物やお寺・踊り等の校区内の特色に触れ・聞き・学んでおり、中学校では、ふるさと向日市腕試しテストなどに取り組んでいる。向日市の将来を担う人材を育てる意味で、大変大切であり評価できる。向日市への関心を高めるとともに、ふるさと向日市への愛着を一層育むため、さらに新しい特産物も取り入れるなど、ふるさと学習の充実を期待する。

○スマートフォンやSNSに関するトラブルの実例や被害の対策・対応等について、企業と連携して情報モラル教育を実施されたことは、大変評価できる。インターネットにおける情報流通の問題は、日々目まぐるしく変化しているので、引き続き、企業と連携するとともに、一層家庭と連携を図り、情報活用能力の育成に努めてほしい。

施策番号	3
施策名	たくましく健やかな身体をはぐくむ教育の推進

施策の基本方向  
 ○生涯を通じて体育・スポーツ活動に親しむ能力と体力の向上を図る。  
 ○知育・徳育・体育の基礎となる食育の推進とともに、現代的な健康課題への理解を深める等、健やかな身体の育成を図る。

事業名	新体力テストの実施									
事業概要 実績	○各学校では、感染症対策を講じ新体力テストを実施した。									
	<結果>									
	・小学6年（男子）※8種目中、6種目において全国平均を上回る。									
		握力	上体起 こし	長座体 前屈	反復横 跳び	20mシャ トルラン	50m走	立ち幅 跳び	ボール 投げ	
	向日市	17.80	24.50	35.53	46.07	74.07	8.49	168.87	26.67	
	全 国	19.77	21.65	35.78	45.86	61.16	8.84	166.33	25.43	
	京都府	18.90	20.75	33.68	44.43	62.14	8.77	165.80	26.45	
	・小学6年（女子）※8種目中、4種目について全国平均を上回る。									
		握力	上体起 こし	長座体 前屈	反復横 跳び	20mシャ トルラン	50m走	立ち幅 跳び	ボール 投げ	
	向日市	17.67	19.67	41.53	39.27	46.00	9.22	162.67	16.33	
	全 国	19.53	19.66	40.71	43.44	47.52	9.16	155.76	15.97	
	京都府	19.10	19.97	38.87	42.07	49.68	9.07	158.13	17.39	
	・中学3年（男子）※8種目中、7種目において全国平均を下回る。									
	握力	上体起 こし	長座体 前屈	反復横 跳び	20mシャ トルラン	50m走	立ち幅 跳び	ボール 投げ		
向日市	26.50	29.10	46.10	53.50	81.60	7.59	191.80	17.30		
全 国	34.65	28.96	47.81	56.28	94.44	7.41	216.35	23.54		
京都府	33.50	28.72	45.06	54.95	93.51	7.39	212.47	22.04		
・中学3年（女子）※8種目中、6種目において全国平均を上回る。										
	握力	上体起 こし	長座体 前屈	反復横 跳び	20mシャ トルラン	50m走	立ち幅 跳び	ボール 投げ		
向日市	27.20	24.30	42.40	52.20	76.30	8.06	189.40	16.10		
全 国	25.72	24.55	48.98	49.35	60.94	8.58	178.58	14.44		
京都府	25.01	24.38	46.52	48.35	59.71	8.54	174.26	14.00		
担当課	学校教育課									

事業名	健康に関する授業
事業概要 実績	<p>○薬物乱用防止教室について、新型コロナウイルス感染症の影響により学校ごとに実施時期が異なるが、すべての学校において実施した。</p> <p>向陽小6年生（10月）、2向小6年生（2月）、3向小6年生（12月）、4向小6年生（7月）、5向小6年生（7月）、6向小6年生（1月） 勝山中2・3年生（7月）、西ノ岡中全学年（2月）寺戸中3年生（7月）</p> <p>○生命のがん教育推進プロジェクト事業（京都府健康福祉部） 新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</p>
担当課	学校教育課

事業名	食育・学校給食運営
事業概要 実績	<p>○小学校では、食に関する体験活動（農作物栽培）をし、給食を通じて食育の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物例 1・2年生（さつまいも、だいこん、ミニトマト、きゅうり） 3・4年生（なす、へちま、ゴーヤ） 5・6年生（米、かぼちゃ、インゲンマメ） 特別支援学級（きゅうり、インゲンマメ、オクラ、さつまいも）</li> <li>・給食等の活用例（さつまいも、だいこん、米）</li> </ul> <p>○小学校給食実施児童数 2, 996人（令和3年5月1日現在） 米飯給食週4回実施。 食器洗浄機、スチームコンベクションオーブン、ガス回転釜、球根皮剥き機等、給食備品の更新により、給食室衛生管理の徹底を図った。 給食室害虫駆除、栄養教諭等保菌検査、食材検査、専門家による研修等を実施し、衛生管理の徹底を図った。</p> <p>○中学校給食実施生徒数 1, 429人（令和3年5月1日現在） 米飯給食週5回実施。</p> <p>○移動シンク、移動台等、給食備品の充実を図った。</p> <p>○栄養士等給食関係者従事者の保菌検査、専門家による研修等を実施し、衛生管理の徹底を図った。</p> <p>○食物アレルギーを有する児童生徒へ医学的根拠に基づいた適切な対応ができた。</p> <p>食物アレルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校 221人（有症率7.4%） （そのうち、除去食対応については、79人）</li> <li>中学校 150人（有症率10.5%） （そのうち、除去食対応については、35人）</li> </ul>

	<p>○中学校給食献立コンクール</p> <p>献立コンクールを通じて、栄養のバランスなど給食への興味関心を持たせ、給食を通じて食育の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全中学校応募者合計数：382人</li> <li>・入賞献立 教育長賞1名（令和4年1月27日の給食で実施） 優秀賞 3名（令和4年1月24日～26日の給食で実施） （学校給食週間（1月24日～30日）に実施）</li> </ul>
担当課	学校教育課

施策の成果と課題	
<p><b>【成果】</b></p> <p>○新体力テストでは、小学6年生（男子）及び中学3年生（女子）等において複数の種目で全国平均を上回っており、体育や保健体育の授業だけでなく、小学校では休み時間における外遊びの奨励、中学校の部活動等における指導の成果が表れている。</p> <p>○すべての小中学校において薬物乱用防止教室及び非行防止教室等を開催し、発達段階に応じた薬物に対する正しい知識と対処について指導することができた。</p> <p>○中学校給食献立コンクールを通じて、生徒が栄養量や栄養バランスに配慮しながら献立を考えることで、食への関心を高めることにつながられた。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○新体力テストの結果を踏まえ、児童生徒の体力向上に向けて、体育や保健体育の授業中にサーキットトレーニングや筋力トレーニング等を行うだけでなく、休み時間の外遊び、部活動等を通じて様々な運動を経験させ、一層の体力の向上を図る必要がある。また、8種目中7種目において全国平均を下回っている中学3年生男子においては、課題分析した上で対策を検討する必要がある。</p> <p>○薬物乱用防止教室について、各校ともインターネットの活用や友人と過ごす時間が多くなる夏季休業期間に至るまでの取組として年間指導計画に位置付け、薬物に対する正しい知識の習得と非行防止に向けた取組を実施する必要がある。</p> <p>○特に、中学校において、生きた教材である給食を活用し、生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養うことができるよう更なる指導を行っていく必要がある。</p>	

## 外部評価委員評価及び意見等

○新体力テストについて、特に中学校においては、部活動の体育系クラブや文化系クラブの所属の関係等もあり分析等は難しいとは思いますが、分析することで体力向上に向けた手立てが見つかることも考えられる。教育委員会において、できる限り全体の把握、分析を行い、児童生徒の体力の向上に努めてほしい。

○新型コロナウイルス感染症の影響により、実施時期は異なるが、すべての小中学校において、中止せずに薬物乱用防止教室を開催できたことは評価できる。小学生から薬物に対する正しい知識と対処について指導することが大切である。特に小学校では、6年生1回の実施となるので中止せずに開催方法を工夫して、継続して実施してほしい。

○中学校給食献立コンクールについて、入賞した献立を実際に給食として提供したことは、生徒が栄養バランス等を考え、食への興味、関心を高めることにもなるので、大変評価できる。一層食育の充実・推進を図るためにも引き継ぎ実施してほしい。

施策番号	4
施策名	一人一人を大切にし、個性や能力を伸ばす教育の推進

<p>施策の基本方向</p> <p>○一人一人をかけがえのない存在として大切にし、その個性を尊重するとともに、その能力と可能性を見出し伸ばす教育を推進する。</p> <p>○人権尊重の意識を高め、自分と他者との人権を大切にする児童生徒の育成に努める。</p>
---

事業名	人権教育
事業概要 実績	<p>○あらゆる人権問題に対し、豊かな人権感覚を持ち、幸せな社会生活を営めるよう、人権意識の高揚につながる取組を行った。加えて、新型コロナウイルス感染者への差別や偏見防止に向け指導を行った。</p> <p>◆人権教育の授業時数 小学校 18.5 時間（小1～小6における各学年の年間授業時間の平均） 中学校 17.1 時間（中1～中3における各学年の年間授業時間の平均）</p> <p>◆教職員研修</p> <p>①向日市教職員研修会（オンラインで実施） 日 時：令和3年8月20日（金） 講 師：関西大学 教授 内田 龍史 氏 「同和問題（部落差別）の現在 ～同和問題（部落差別）学習のポイント～」</p> <p>②各学校の校内研修会 同和問題（部落差別）、障がい児者理解教育、LGBT理解教育、身の回りの差別、新型コロナウイルス感染者への人権問題等をテーマとして実施</p> <p>◆人権教育に関する教職員の意識調査 目 的：向日市立小中学校教職員の人権教育に関する意識や知識等を把握し、教職員の人権意識の高揚及び人権教育を推進するための研修の充実・改善に活かすとともに、人権教育の一層の充実を図る。 調査期間：令和3年10月21日（木）から同年10月29日（金）まで 対 象：校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、常勤講師（計255名） 内 容：教職員の人権意識、人権問題に関する知識や指導力、人権研修のニーズ等</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業 ・参観、公開授業</p>
担当課	学校教育課

事業名	特別支援教育の充実
事業概要 実績	<p>○向日市教育支援委員会において、小中学校に在籍又は就学予定の幼児、児童生徒について、障がい等に配慮した適切な就学について協議し、相談及び指導を行った。</p> <p>相談件数 108件（就学前39件、小学校55件、中学校14件）</p> <p>○各校の状況に応じ、特別支援教育支援員を配置し、教育上特別の支援を必要とする児童生徒に対する支援を行った。</p> <p>全小中学校に配置 小学校25人、中学校6人</p> <p>○特別支援教育就学奨励費を支給し、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担軽減を図った。</p> <p>給付内訳（給付対象人数：小学校82人、中学校22人）  学用品等購入費（小学校78人、中学校20人）  給食費（小学校74人、中学校17人）  校外活動費（宿泊あり・宿泊なし）（小学校10人・76人、中学校0人・20人）  修学旅行費（小学校9人、中学校2人）  体育実技用具、柔道（中学校2人）  新入学児童生徒学用品費等（小学校15人、中学校9人）</p>
担当課	学校教育課

事業名	職場体験活動
事業概要 実績	<p>○例年、望ましい職業観や勤労観等を身につけさせるため、市の「総合的な学習」補助金や府教育委員会補助事業「KYO 仕事・文化体験活動推進事業」等を活用し、中学2年生を対象に介護や農作業等の体験活動や地域社会における職場体験を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</p>
担当課	学校教育課

施策の成果と課題	
<p><b>【成果】</b></p> <p>○全小中学校において人権学習を実施し、人権尊重の意識の高揚を図った。また、若手教員が増える中、各学校において同和問題（部落差別）を研修テーマとした教職員研修会を実施し、同和問題学習を進めるための教員の資質能力の向上を図った。</p> <p>○教育支援委員会では、幼児児童生徒の状況を的確に判断するため、学校や保育所（園）、幼稚園、療育等の関係機関と連携しながら本人参観や保護者懇談を重ね、本人や保護者の意向を尊重した相談を重視した。さらに、幼児児童生徒一人一人に応じた就学先について審議し、適切な進学先を総合的に判断し、保護者に伝える役割を果たすことができた。また、各学校では、特別支援教育支援員による児童生徒への支援の充実が図られた。</p>	

### 【課題】

○人権教育に関する教職員の意識調査結果から、とりわけ若手教員について人権教育に係る知識的側面（同対審答申、統一応募用紙の制定、部落差別解消法等）に課題があり、各学校の状況に応じ研修テーマを焦点化するなど課題の改善を図る必要がある。

○幼児児童生徒一人一人に応じた継続した教育的支援の充実を目指して、療育等の関係機関と協力して進めてきた「移行支援シート」の活用について、小学校での活用が定着し、中学校への活用も進められた。今後も一貫した支援につながるよう、さらに活用を進めていく必要がある。

○コロナ禍での中学校の職場体験活動の実施に向け、体験活動の在り方を検討するとともに、体験することのみが目的にならないよう、各学校において体験活動前後の学習について特別の教科道徳等で計画的に進めるなど、指導内容を充実させ、児童生徒に望ましい職業観や勤労観を育成する必要がある。

○「向日市立の小学校及び中学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則」に基づき、各学校の状況に応じた業務改善を一層推進させるとともに、京都府教育委員会「教職員の働き方改革実行計画」の評価指標を学校評価と連動させ、自己評価の項目に追加するなど業務改善の点検・評価を全校で実施する必要がある。

### 外部評価委員評価及び意見等

○コロナ禍のため、地域社会における職場体験が実施できなかったのは、残念である。中止すると職業観や勤労観等を身に付ける貴重な機会を失うので、職場体験に代わる別の方法や在り方を検討の上、実施してほしい。

○移行支援シートは、一人一人に応じた継続した教育的支援に、非常に大切なものである。継続した支援をするために、学校と家庭が連携し、特別な支援が必要な児童生徒の変化等について、記録が漏れることのないように情報共有を徹底してほしい。

施策番号	5
施策名	安心・安全な教育環境の充実

施策の基本方向

○児童生徒が安心して通え、楽しく過ごすことができる居場所としての学校づくりに取り組む。

○児童生徒の心身ともに健全な発達を促すとともに、安心・安全な教育環境の充実を図る。

事業名	安心・安全教育																														
事業概要 実績	<p>○「向日市いじめ防止基本方針」に基づき、各小中学校においては「いじめ防止基本方針」を策定するとともに、校務分掌にいじめ防止委員会を位置付け、日常的にいじめの早期発見と早期対応に努めた。</p> <p>○年2回のいじめ調査（アンケートと個別に聞き取り）を実施（1回目：7月、2回目：11月）した。</p> <p>※各調査後、3か月後を目安に追跡調査を実施した。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="5">いじめ調査の認知・解消件数（延べ件数）</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>認知</th> <th>解消</th> <th>認知</th> <th>解消</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>952</td> <td>825</td> <td>1,142</td> <td>614</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>113</td> <td>107</td> <td>186</td> <td>169</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,065</td> <td>932</td> <td>1,328</td> <td>783</td> </tr> </tbody> </table> <p>○8月に向日市いじめ防止対策推進委員会（臨床心理士や弁護士、小児科医等が委員）を開催し、いじめ調査結果を基にいじめの防止等に向けた方策について協議した。</p> <p>（年2回の内1回（2月）の推進委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止）</p> <p>○不登校数《年間30日以上欠席》（ ）内は令和3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 1.57%（1.52%）</li> <li>・中学校 4.91%（4.06%）</li> </ul> <p>○交通安全教室</p> <p>小学校 「交通安全教室」 1年2年：向陽小、5向小 「自転車運転免許教室」 4年：向陽小、3向小</p> <p>中学校 「交通安全教室（自転車）」 1年：寺戸中</p>	いじめ調査の認知・解消件数（延べ件数）					年度	令和2年度		令和3年度		項目	認知	解消	認知	解消	小学校	952	825	1,142	614	中学校	113	107	186	169	合計	1,065	932	1,328	783
いじめ調査の認知・解消件数（延べ件数）																															
年度	令和2年度		令和3年度																												
項目	認知	解消	認知	解消																											
小学校	952	825	1,142	614																											
中学校	113	107	186	169																											
合計	1,065	932	1,328	783																											
担当課	学校教育課																														

事業名	教育相談等
事業概要 実績	<p>○適応指導教室の充実</p> <p>市内の不登校の児童生徒を対象に、主体性や人間関係の改善等を図る指導や相談を行うことにより、学校への復帰や社会的自立に向けた支援を行う適応指導教室「ひまわり広場」の開設日を増加し、対応を充実させた。</p> <p>201日開設（週5日間 午前9時30分から正午まで） 指導員10人（各開設日2人） 登録児童生徒23人（小学校9人、中学校14人） 通室児童生徒数 平均3～4人／日</p> <p>○教育相談事業の実施</p> <p>来所による相談、電話による相談、学校への巡回相談を実施した。とりわけ来所相談はニーズが高く、1人の臨床心理士が週2回、児童生徒やその保護者等の相談に応じた。</p> <p>（各相談件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来所教育相談件数（市役所）延べ349件</li> <li>・電話教育相談件数 延べ81件</li> <li>・学校への巡回教育相談（全小中学校） 延べ282件</li> </ul> <p>○心の相談サポーター事業</p> <p>不登校の未然防止や早期解決を図るため、登校できるが教室には入りにくい不登校傾向の児童生徒を対象に、学習支援や教育相談等を行い、児童生徒の悩みや不安、ストレス等の解消を図り、心にゆとりを持てるような環境を提供した。</p> <p>臨床心理学を学ぶ大学院生 12人 配置校 小学校5校、中学校2校（各校週1日～4日） 対応件数 延べ1,135件</p>
担当課	学校教育課

事業名	登下校時安全対策
事業概要 実績	<p>① 通学路安全推進会議の開催（1回）</p> <p>向日市通学路交通安全プログラムに基づき、通学の安全対策について協議を行った。</p> <p>構成団体：京都府乙訓土木事務所・京都府向日町警察署 向日市（公園交通課・学校教育課・道路整備課・子育て支援課）</p> <p>② 通学路緊急合同点検の実施（3回）</p> <p>千葉県八街市の事故を受け、市内通学路57箇所の緊急合同点検を実施した。</p> <p>構成団体：京都府乙訓土木事務所・京都府向日町警察署 向日市（公園交通課・学校教育課・道路整備課・子育て支援課）</p>

	<p>③交通指導員の配置</p> <p>小学校の通学路における交差点や踏切等、登校時32箇所、下校時14箇所の危険箇所に交通指導員を配置し、通学路の安全確保を図った。</p> <p>また、老朽化した交通安全啓発用反射電柱幕の交換や新たな設置を行い、通学路の交通安全について啓発を行った。</p> <p>④防犯ブザーの配布</p> <p>小中学校の新1年生全員に防犯ブザーを配布した。 (小学生524個、中学生459個)</p>
担当課	学校教育課

事業名	学校施設の整備
事業概要 実績	<p>○子どもたちが安全な教育環境のもとで学校生活を送れるよう、学校施設の計画的な修繕及び適切な維持管理を行うため、小中学校の全校舎を対象に外壁劣化調査を実施した。また、先行して、老朽化が進む第4向陽小学校及び第6向陽小学校、寺戸中学校の一部の校舎について、外壁改修工事、及び屋上防水改修工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査内容：目視調査、打診調査、赤外線調査、アスベスト含有調査</li> <li>・外壁改修内容：外壁・庇のひび割れ、浮き等の補修及び塗装等改修工事</li> <li>・外壁改修箇所 第4向陽小学校南校舎、第6向陽小学校北校舎、寺戸中学校北校舎</li> <li>・屋上防水改修工事箇所：第4向陽小学校中校舎</li> </ul> <p>○落下防止対策の実施</p> <p>令和2年度に発生した天井等軽量モルタルの剥離・落下事象を受け、未然防止のため、令和2年度に全校を対象とした内壁劣化調査を行った。同調査結果を基に、早期に対応が必要と判定された箇所の内壁及び天井のモルタル落下防止対策工事を夏季休業期間に実施した。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策の実施</p> <p>換気と室温の上昇の改善や感染防止対策強化のために修繕等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校校舎の空調内部洗浄</li> <li>・全校体育館のスポットクーラー設置のためのコンセント増設</li> <li>・小学校（第4向陽小学校を除く）の給食室の空調増設</li> <li>・第4向陽小学校の手洗い場増設</li> </ul>
担当課	教育総務課

## 施策の成果と課題

### 【成果（学校教育課）】

○適応指導教室の指導員の確保に向けて臨床心理士を養成する大学と交渉を重ね、人材を確保することができた。また、複数の指導員を確保することで、通室する児童生徒に対して個に応じた丁寧な支援を実施することができた。

○心の相談サポーター事業では、各サポーターが別室へ登校する児童生徒への個別の対応や、教室に入りにくい児童生徒の教室入室時における状況について教員と共有するなど、対象児童生徒の支援に貢献した。

○通学路安全推進会議及び緊急合同点検において、学校から要望のあった通学路の危険箇所の情報を各関係機関と連携し、安全対策について点検、対策案を検討し、対策が必要な箇所について、各関係機関において、車止めの設置や電柱幕の設置など安全確保に向けた取組を進めた。

通行に際し注意が必要な箇所に交通指導員を配置し、児童が安心して通学できるよう通学路の安全対策を図った。

「学童多し注意」「危険 歩行者に注意」の電柱幕を設置することにより児童生徒だけでなく、通行する車両に対しても交通安全に対する啓発を行った。

さらに、新1年生に防犯ブザーを配布し、不審者から身を守るための防犯・安全意識の啓発を行うとともに、いざという時に正しく使用できるよう指導を行った。また、学校だより等を通じ、防犯ブザーの定期的な電池交換と常時携行について周知を行った。

### 【成果（教育総務課）】

○内壁及び外壁劣化調査を行うことで、事前に校舎の劣化状況が把握することができ、計画的な修繕や適切な維持管理につなげることができた。また、老朽化が進む校舎のモルタル落下防止対策及び外壁の改修工事に着手し、児童生徒が安全な教育環境のもとで学校生活を送れるよう、教育環境の改善を図った。

○教室等の換気や室温上昇の改善を図るために、校舎空調内部洗浄及び給食室の空調整備、手洗い場の増設等を行うことで、児童生徒の感染防止対策を一層進めることができた。

### 【課題（学校教育課）】

○向日市いじめ防止対策推進委員会において、委員からここ数年いじめの認知件数が減少している傾向について指摘があり、本市においては学年が上がるにつれ認知件数が減少する傾向も見られるところである。教員が児童生徒の些細な変化を見落とすことなく、また、思春期を迎える児童生徒の中には、いじめを先生に報告するともっと事態が悪い方向に行ってしまうから言わないでおこうと考えてしまうこともあるため、一層教員と児童生徒との信頼関係を構築し、いじめの初期段階で丁寧に寄り添うなどの対応が必要である。

○すべての児童生徒の教育機会の確保のため、学校への登校という形にこだわらず、本市適応指導教室の活用やフリースクール等との連携を図り、児童生徒の社会的自立に向けた支援を充実する必要がある。

○不登校児童生徒や保護者とうまくつながることが難しいケースや適応指導教室等にも通うことが難しいケース、スクールカウンセラーやまなび生活アドバイザーとの面談が進まないケースなどには、京都府脱引きこもりセンター早期支援特別班等を活用するなど、不登校児童生徒一人一人の状況に応じた適切な支援に努める。

○各学校においては、不登校に係る児童生徒一人一人のアセスメントに基づいた支援を進めるため、外部との連携を図りながら組織的に対応していく必要がある。特に小学校における不登校児童が増加しているため、保護者と連携し、下学年での出席状況等詳細な情報を校内で共有するとともに進学先中学校にも丁寧に引き継ぐ必要がある。

また、教育委員会においては、適応指導教室等の支援体制を整備の上、各学校と連携を密にした児童生徒への支援を強化するとともに、児童生徒の学びの機会を広げるため、京都府認定フリースクールや、近隣のフリースクールなどの調査を進め、連携を図れるようにネットワークを強化していく必要がある。

○心の相談サポーター及び適応指導教室の指導員の人材確保が難しくなっており、関係の大学へ早期に協力要請して人材確保に努める。

○道路や周辺の状態変化等により通学路の危険箇所は常に変化するため、通学路安全推進会議の構成団体や学校・地域と連携して、定期的に要望や意見を取り入れつつ、交通指導員の配置時間や配置場所について、最適な見直しを行う必要がある。

#### 【課題（教育総務課）】

○児童生徒の安全確保及び学校施設の維持管理のために、老朽化が進行している校舎について、計画的に老朽化対策改修工事を進める必要がある。

○スロープやバリアフリートイレの整備等バリアフリー化を推進し、誰もが支障なく学校生活を送れるよう改修工事を進める必要がある。

○令和2年5月策定の「向日市小中学校個別計画」に基づき、令和3年度から3年間は、緊急度の高い施設から取り組み、令和6年度から概ね10年間に第2向陽小学校及び勝山中学校を主な対象として改築を進めていく必要がある。

#### 外部評価委員評価及び意見等

○いじめは、常日頃からの組織的な連携・体制整備が重要である。また、記録を残すことも非常に重要であるので、全教職員がいじめに対する共通認識を持ち、教職員間で情報共有に努めてほしい。

○適応指導教室「ひまわり広場」について、開設日が増設され、不登校の児童生徒が学校への復帰等に向けた支援が充実されたが、午前中の開設となっている。指導員の確保が難しいと思うが、開設時間の延長について検討してほしい。

○通学路の危険箇所について、保護者からの情報収集もさらに積極的に取り入れ、通学路の安全確保に努めてほしい。

○新型コロナウイルス感染症対策のため、空調内部洗浄、手洗い場の増設等修繕を行ったことで、より多くの教育環境改善が図れている。学校施設は避難所であるため、今後も学校施設の改修工事等に計画的に取り組んでほしい。

○「向日市小中学校個別計画」において、緊急度の高い施設から改修に取り組む計画を、前倒しで工事が進めたことは評価できる。予算との兼ね合いもあるが、確実に計画を進めてほしい。

施策番号	6
施策名	学校の教育力の向上

<p>施策の基本方向</p> <p>○子どもの豊かな成長を支える教職員の資質能力の向上を図る。</p> <p>○強い使命感と高い専門性を持つ教員の育成を図り、児童生徒が、明るくいきいきと学ぶ魅力ある学校づくりを目指す。</p> <p>○保護者や地域社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子どもの資質能力をはぐくむ「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。</p>
--

事業名	子ども未来づくり支援事業（教職員研修）
事業概要 実績	<p>○教育委員会主催教職員研修会においては、新型コロナウイルス感染症対策として、集合ではなくオンラインでの形態で実施した。</p> <p>○各学校における教職員研修や先進校視察研修については、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画の多くを中止した。</p> <p>①教育委員会主催教職員研修 全教職員が各勤務校において3講座のいずれかの講座をオンラインで受講 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上（新学習指導要領の趣旨理解、学習評価）2講座</li> <li>・人権教育（同和問題（部落差別））1講座</li> </ul> <p>②各学校の主な教職員研修 各校の教育課題に応じた研修講師を招き、研修会を実施 小学校11件、中学校2件（年間通じて複数回実施を含む延べ件数） 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導（新学習指導要領の趣旨理解、学習指導につながる児童理解、思考力・表現力を育てる授業づくり、国語教育と評価、QUの活用等）</li> <li>・特別支援教育（難聴の理解）</li> </ul> <p>③先進校視察研修 ニーズに応じて視察研修を実施（小学校1校） 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学校給食研究協議大会へ参加（オンライン研修） （先進的な研究をしている学校の実践を学ぶ）</li> </ul> <p>※実践校：北海道森町立小学校 他2校</p>
担当課	学校教育課

事業名	学校評価
	<p>○自己評価</p> <p>各学校は、評価計画に基づき教育活動に係る評価を実施することにより、各取組を改善した。</p>

事業概要 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、学年、学級、校内分掌担当での評価を実施（年2～3回）</li> <li>・児童生徒、保護者、学校評議員にアンケート調査を実施（年3～4回）</li> <li>・評価と調査を基に教育活動を捉え直し、改善策を明確化</li> <li>・業務改善の視点を取り入れ実施（7校／9校）</li> </ul> <p>○自己評価の公表 各学校は、各研究内容や授業改善の視点、家庭学習等、自己評価の結果を受けた教育活動の改善の方向性について学校だよりで周知した。</p>
担当課	学校教育課

事業名	校種間連携の充実
事業概要 実績	<p>○児童生徒間の交流及び教職員対象の研修は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒 <ul style="list-style-type: none"> <li>部活動体験（見学） 中止</li> <li>中学校の授業体験 中止</li> <li>中学校の体育大会見学 中止</li> </ul> </li> <li>・教職員 <ul style="list-style-type: none"> <li>合同研修会（学力分析、生徒指導など）</li> <li>合同授業研究会（公開授業の参観、事後研究など） <ul style="list-style-type: none"> <li>勝山ブロック 中止</li> <li>西ノ岡ブロック 中止</li> <li>寺戸ブロック 中止</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、小学校教員と、保育所職員及び幼稚園教員との懇談のみ実施し、その他の交流行事は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児児童の交流行事 中止 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校1年と年長との遊び、小学校での発表や授業体験、小学校の体育大会へ年長を招待、児童が保育園や幼稚園を訪問</li> </ul> </li> <li>・教職員（全小学校） <ul style="list-style-type: none"> <li>保幼小交流会 担当者による懇談のみ実施</li> <li>合同研修会（京都府乙訓教育局主催事業） 中止</li> <li>幼児教育、保育の一日体験（初任者教員対象） 中止</li> </ul> </li> </ul>
担当課	学校教育課

事業名	コミュニティ・スクールの導入についての検討
	○小中学校における学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の導入に向けた取組状況

事業概要 実績	<p>① 市教育委員会指導主事による視察の実施 視察場所：宮津市教育委員会 視 察 日：令和3年11月5日（金）</p> <p>② 研修会の実施 「地域とともにある学校づくり ～子どもたちの未来のために～」 開催日：令和4年2月11日（月）（オンライン） 講 師：文部科学省 CSマイスター 大谷裕美子氏 対 象：向日市立小中学校長（9名）</p>
担当課	学校教育課

施策の成果と課題	
<p><b>【成果】</b></p> <p>○教育委員会主催教職員研修会を実施するに当たり、研修講師とともにコロナ禍における新たな形態について模索し、オンライン形式で全教職員を対象にした研修を実施した。なお、実施に当たっては事前に研修資料を参加者にデータで配付し、当日は資料をタブレット端末で確認しながら受講できるように配慮した。</p> <p>○研修講師を招き校内研修会を実施した学校では、学習指導や特別支援教育等、学校の状況に応じた研修テーマを設定し、思考力・表現力を育てる授業づくりの手法や障がいのある児童生徒への対応等、教職員の資質・能力の向上を図ることができた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により先進校視察を実施した学校は少なかったが、近年は、経年で同じ学校へ視察を行うことで、校内で指導方法等を伝達・共有する機会が増え、実践に生かしやすくなっている。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○教育委員会主催教職員研修会では、オンラインによる受講形態とし一定の成果が現れているが、一層効果を上げるため、参加者の主体性を向上させる工夫が必要である。</p> <p>○各学校では、教員の大量退職大量採用により若手教員の割合が年々高くなっていく状況や、教科等の指導力の実態を踏まえ、とりわけ新学習指導要領の趣旨理解と授業力を高めるための校内研修を一層充実させる必要がある。</p> <p>○保護者や地域社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子どもの資質能力をはぐくむ「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、令和5年度から導入予定の学校運営協議会（コミュニティ・スクール）について、委員やコーディネータの選出等の準備を進めていく必要がある。</p>	

## 外部評価委員評価及び意見等

○コロナ禍で様々な制限などの対応が求められる中でも、オンラインでの教職員研修会や修学旅行など学校行事の実施方法等について、検討を重ね、工夫して継続できるように取り組めたことは大変評価できる。

教職員研修会については、オンライン研修から見えた課題を改善し、グループ協議等の新たな開催方法なども模索し、教員の意見も取り入れながら、次の研修会に活かせるよう努めてほしい。

○コミュニティ・スクールの導入に向け、事前に視察や研修会を実施したことは、全体像が見えた点でも評価できる。導入に向け、地域住民に対して丁寧に説明することはもちろん、学校毎に地域の特色等を踏まえ、学校運営協議会の委員人選については、地域に偏りがでないよう、コミュニティ・スクールの趣旨を生かし、導入に向け準備を進めてほしい。

○保護者や学校、地域に守られ育った子どもたちは、やがて成人してどこかの「地域の人」になる。子どもの頃に地域の人に教えていただきながら取り組んだ経験は、次代を担う地域人材を育成することにもつながる。そのためにも、地域住民と連携して、コミュニティ・スクールをより良いものにしてほしい。

施策番号	7
施策名	生涯学習環境の充実

<p>施策の基本方向</p> <p>市民が生涯にわたり、多様な学習活動を行うことができるよう、自主的、自発的な学習活動を支援するとともに、学習機会の提供及び学習の成果を活かす場や機会の充実に努める。</p>
---

事業名	生涯学習情報紙の発行
事業概要 実績	<p>○市などが開催する生涯学習関連事業の情報を市民に提供するため、生涯学習情報紙を発行した。</p> <p>生涯学習情報紙：年2回(4月～9月(前期)・10月～3月(後期)) 前期500部、後期500部発行(市内公共施設等に配布)</p> <p>子ども向け夏休み情報紙：年1回(夏休み前)、各小中学校に配布</p>
担当課	生涯学習課

事業名	生涯学習推進ボランティアサークル「まなぼうや」への支援
事業概要 実績	<p>○生涯学習の推進に取り組むボランティアサークル「まなぼうや」の活動に対して、助言等の活動支援を行った。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定例会のみ開催し、講座開催は自粛した。</p>
担当課	生涯学習課

事業名	中央公民館生涯学習講座
事業概要 実績	<p>○子どもふれあい講座の開催</p> <p>理科好きの子どもを育成するため、国家資格を有する科学の専門家から理科の不思議について学ぶ「ふしぎ発見理科教室」を3回開催した。</p> <p>① 「分析」してみよう！</p> <p>ろ紙と水でサインペンの色を分けることで、クロマトグラフィーという分析方法や分析することの楽しさを学んだ。</p> <p>開催日：令和3年7月18日(日) 参加者数：12人</p> <p>② 色と光のふしぎな関係</p> <p>光の3原色、赤、青、緑のLEDを使って色と光の関係を調べた。</p> <p>開催日：令和3年10月30日(土) 参加者数：8人</p> <p>③ モビール(動く彫刻)をつくろう</p> <p>はりがねハンガーと板紙から動くモビールを作り、バランスのとりかたを体験しながら、力のつりあい考えた。</p> <p>開催日：令和3年11月28日(日) 参加者数：5人</p>

	<p>○教養講座・健康講座の開催</p> <p>・市民教養講座</p> <p>① 「シニアのためのスマートフォン講座」  中高年を対象にスマートフォンの機能を学び、実際に使い生活に役立つことを知り、その便利さを体験した。  開催日：令和3年11月30日（火）（午前・午後2回開催 ドコモ）  参加者数：18人  開催日：令和4年3月30日（水）（午前・午後2回開催 ソフトバンク）  参加者数：25人</p> <p>② 「シニアライフを笑顔で過ごす。ちょっと役立つおかねの話」  シニアライフを安心して充実させるため、お金に関する正しい知識をわかりやすく説明していただいた。  開催日：令和3年7月4日（日） 参加者数：9人  講 師：藪内美樹氏（京都府金融広報委員会 金融広報アドバイザー）</p> <p>③ 「記憶力を鍛える」  人の記憶がはたらく仕組みについて、心理学と脳科学の点からわかりやすく説明していただいた。  開催日：令和3年12月25日（土） 参加者数：22人  講 師：森下正修氏（京都府立大学公共政策学部 教授）</p> <p>・市民健康講座  「ヒトは血管から老いる」  健康に過ごすため10万人のデータから考える生活習慣について、最近の研究を含め医学的にわかりやすく説明していただいた。  開催日：令和4年2月27日（日） 参加者数：17人  講 師：小山晃英氏（京都府立医科大学地域保健医療疫学講師）</p> <p>○市民文化展  市民の創作による作品の展示・発表を行った。  開催日：令和3年11月5日（金）～ 11月7日（日）3日間  出展者数：70人、出展数：74点、来場者数：637人  開催場所：イオンモール京都桂川イオンホール</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業</p> <p>○夏休み子ども体験講座  ○国際理解講座  ○学習発表会「舞台の部」</p>
担当課	中央公民館

事業名	地区公民館生涯学習講座
事業概要 実績	<p>身近な公民館で、一般教養、趣味などの講座に参加することにより教養を高め、また、地域の活性化が図れるように努めた。（予定7講座の内6講座を開催）</p> <p>○寺戸公民館 3講座を予定し2講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康講座「太極拳体験教室」 心身の健康維持・増進に太極拳を体験した。 開催日：令和3年10月29日（金） 参加者数：15人</li> <li>・趣味・教養講座「楽しく学ぶ干支剪画教室」 剪画の技法を学び、令和4年の干支である「寅」の色紙を作成した。 開催日：令和3年11月9日（火） 参加者数：14人</li> </ul> <p>○物集女公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康講座「介護予防体操」 ラジオ体操や椅子にすわりながらのストレッチ等を行った。 開催日：令和4年1月31日（月） 参加者数：7人</li> </ul> <p>○森本公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教養講座「認知症者に対する施策について」 認知症者やその家族が安心して暮らし続けることができるように、接し方や見守り方などを学んだ。 開催日：令和4年3月3日（木） 参加者数：19人</li> </ul> <p>○鶏冠井公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味・教養講座「お正月の寄せ植え」 葉牡丹を中心に和物、洋物など7種類の植物で寄せ植えを行った。 開催日：令和3年12月22日（水） 参加者数：16人</li> </ul> <p>○上植野公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味・教養講座「金箔手工芸」 色紙に金と銀など色とりどりの箔で華やかにアレンジした。 開催日：令和3年12月22日（水） 参加者数：9人</li> </ul> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○寺戸公民館教養講座</li> <li>○学習発表会「展示の部」（各公民館開催）</li> </ul> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会議室を貸館中止した期間 令和3年4月25日（日）～5月11日（火）</p>
担当課	中央公民館

事業名	図書館読書推進事業
事業概要 実績	<p>○資料の収集と貸出 蔵書数 195,526点 貸出資料数 307,265点 貸出者数 85,546人</p> <p>○レファレンス・サービス 受付件数 53件</p> <p>○予約サービスによる資料提供、他館との相互貸借、障がい者サービス 予約処理件数 29,431件 相互協力 貸出 609件、借用 1,729件 障がい者サービス 自宅配本 34回 217点</p> <p>○読書の普及推進と読書環境の向上を図るための各種読書推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会（7月、1月、3月） 参加者 47人</li> <li>・おはなしひろば（4月、7月、10月、11月、1月、3月） 参加者 72人</li> <li>・文学講座（3月 2回） 参加者 59人</li> <li>・小中学生読書感想文コンクール（9月募集、12月 表彰式） 応募者 179人</li> <li>・大人の朗読会（7月、12月、3月） 参加者 37人</li> <li>・むこうビブリオバトル（7月、12月、3月） 参加者 36人</li> </ul> <p>○テーマ架展示 「あちこちテーマ架 いい本あるよ!」と題して、館内13箇所にてテーマ架を増設し、季節、記念日、行事などに合わせ定期的に図書展示替えを行った。</p> <p>○図書館ホームページの一新とLINE情報案内サービスの開始 システムの更新を機会に、わかりやすい資料検索等が可能なホームページと、LINEによる休館日、イベント、資料の検索などが可能なシステムを導入し、非接触型サービスの充実を行った。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため変更及び中止した事業</p> <p>○読書の普及推進と読書環境の向上を図るための各種読書推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなしひろば（5月、9月）</li> <li>・大人の朗読会（9月）</li> <li>・図書館リサイクル・デー（6月） ※「ミニミニリサイクルコーナー」（常設）を3月から実施</li> <li>・自習室の開設（8月）</li> </ul>

	○図書館ボランティアの育成及び支援 ・ステップアップ講座（3月） ・ボランティア養成講座（3月）
担当課	図書館

事業名	文化資料館運営事業
事業概要 実績	<p>○古代の都“長岡京”をテーマとした常設展示の運営、特別展・テーマ展等の展示、講演会・日曜談話会の開催、市民ボランティア活動の支援を通して向日市の各時代の歴史及び文化について広く発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館日数 282日</li> <li>・入館者数 10,156人</li> </ul> <p>○国際シンポジウム関連特別展「寿岳文章 人と仕事—向日庵と和紙の旅—」 開催日：令和3年9月18日（土）～10月24日（日） 期間中入館者数：968人</p> <p>○特別展「日本画家・六人部暉峰の世界」 開催日：令和3年11月6日（土）～12月5日（日） 期間中入館者数：2,284人</p> <p>○テーマ展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「写真でふりかえる昭和のまちかど」 開催日：令和3年4月3日（土）～6月13日（日） 期間中入館者数：1,079人</li> <li>・「くらしのなかの戦争展 平和・国際交流と向日庵」 開催日：令和3年7月31日（土）～9月12日（日） 期間中入館者数：1,504人</li> <li>・「夏休み親子歴史教室作品展」 開催日：令和3年8月1日（日）～8月15日（日） 期間中入館者数：483人</li> <li>・「くらしの道具展」 開催日：令和4年1月22日（土）～3月21日（月・祝） 期間中入館者数：1,986人</li> <li>・「ひな人形展」 開催日：令和4年2月12日（土）～3月27日（日） 期間中入館者数：1,346人</li> </ul> <p>○文化活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古代衣裳関係事業 古代衣裳公開研修「正倉院宝物衣裳から長岡京期の衣裳を考察する」 開催日：令和3年6月27日（日） 参加者数：28人</li> </ul>

- ・小さいピアノ♪コンサート  
開催日：令和3年7月4日（日）  
参加者数：30人
- ・夏休み親子歴史教室  
「つくって学ぶ さわって感じる 和紙文化と向日庵」  
開催日：令和3年7月29日（木）・30日（金）  
参加者数：32人
- ・日曜談話会  
「広島ブランデン詩碑と寿岳文章」  
開催日：令和3年8月1日（日）  
参加者数：16人
- ・国際シンポジウム  
「20世紀の和紙 ー寿岳文章 人と仕事ー」  
開催日：令和3年10月16日（土）（オンライン開催）  
参加者数：360人（国内外）
- ・特別展記念シンポジウム  
「六人部暉峰と明治期京都画壇」  
開催日：令和3年11月21日（日）  
参加者数：40人
- ・国際シンポジウム報告
  - I 「寿岳文章の集めた紙と『紙漉村旅日記』」  
開催日：令和3年12月19日（日）  
参加者数：26人
  - II 「寿岳文章の和紙研究とハンターとの交流」  
開催日：令和4年1月23日（日）  
参加者数：7人
  - III 「手漉紙をめぐる世界の状況と和紙文化の国際発信」  
開催日：令和4年2月20日（日）  
参加者数：8人
- ・歴史講座「古文書を読もう ー幕末京都文人の世界ー」
  - I 蓮月の手紙①  
開催日：令和4年3月20日（日）  
参加者数：45人
  - II 蓮月の手紙②  
開催日：令和4年3月27日（日）  
参加者数：37人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業

- ・ボランティア養成講座（5月）
- ・古代衣裳関係事業  
大極殿衣裳行列（11月）

	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館した期間 令和3年4月25日(日)～5月11日(火)
担当課	文化資料館

事業名	天文館運営事業																								
事業概要 実績	<p>○プラネタリウム新番組の導入、講演会や講座の開催など、天文への興味・関心を高める事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館日数 238日</li> <li>・投影日数 193日、投影回数 498回(10番組)</li> <li>・プラネタリウム一般投影 観覧者数 3,440人(特別投影を含む)</li> <li>・プラネタリウム団体投影 観覧者数 1,048人(41団体)</li> <li>・観覧者の内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>大人 2,057人、小中学生 1,215人、幼児 1,216人</li> <li>計 4,488人</li> </ul> </li> <li>・団体の内訳 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">市内</td> <td style="padding-right: 10px;">14団体</td> <td style="padding-right: 10px;">388人、</td> <td style="padding-right: 10px;">市外</td> <td style="padding-right: 10px;">27団体</td> <td style="padding-right: 10px;">660人</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">(幼稚園</td> <td style="padding-right: 10px;">10団体</td> <td style="padding-right: 10px;">291人、</td> <td style="padding-right: 10px;">保育所</td> <td style="padding-right: 10px;">6団体</td> <td style="padding-right: 10px;">155人、</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">こども園等</td> <td style="padding-right: 10px;">11団体</td> <td style="padding-right: 10px;">283人、</td> <td style="padding-right: 10px;">小学校</td> <td style="padding-right: 10px;">8団体</td> <td style="padding-right: 10px;">243人、</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">その他</td> <td style="padding-right: 10px;">6団体</td> <td style="padding-right: 10px;">76人</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> </li> </ul> <p>○定例天体観望会 参加者数 163人(6月～1月、3月 9回開催)</p> <p>○特別天体観望会 参加者数 51人(3回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部分日食観望会(11月)</li> <li>・昼の金星観望会(10月・3月)</li> </ul> <p>○天文教室・講座 参加者数 138人(15回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の天文教室(7月・8月 5回)</li> <li>・秋の天文教室(9月 1回)</li> <li>・冬の天文教室(2月 4回)</li> <li>・天文よもやま講座(10月 1回)</li> <li>・天文実験講座(7月 1回)</li> <li>・天文学講座(10月・12月 2回)</li> <li>・特別天文講演会(1月 1回)</li> </ul> <p>○特別企画事業 参加者数 170人(7回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕ファミリーコンサート(8月 2回)</li> <li>・キッズプラネタリウム(8月 2回)</li> <li>・大人のための星語り(10月 1回)</li> <li>・熟睡プラ寝たリウム(12月 1回)</li> <li>・クリスマスコンサート(12月 1回)</li> </ul>	市内	14団体	388人、	市外	27団体	660人	(幼稚園	10団体	291人、	保育所	6団体	155人、	こども園等	11団体	283人、	小学校	8団体	243人、	その他	6団体	76人			
市内	14団体	388人、	市外	27団体	660人																				
(幼稚園	10団体	291人、	保育所	6団体	155人、																				
こども園等	11団体	283人、	小学校	8団体	243人、																				
その他	6団体	76人																							

	<p>○来館者総数 6, 571人 (内ロビーのみ入館者 1, 561人)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業</p> <p>○桜まつり 特別一般投影 (4月)</p> <p>○ゴールデンウィーク 特別開館と特別投影 (5月)</p> <p>○特別天体観望会 夏休み親子天体観望会 (8月) お月見観望会 (9月)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館した期間 令和3年4月25日 (日)～5月11日 (火)</p>
担当課	天文館

施策の成果と課題	
	<p><b>【成果 (全施設)】</b></p> <p>○臨時休館や施設の使用制限を設けるなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、感染症拡大防止及び利用者の安全が確保できた。</p> <p><b>【成果 (生涯学習課)】</b></p> <p>○生涯学習情報紙を発行することにより、市などが開催する生涯学習関連事業の情報を、多くの市民に提供することができた。</p> <p>○生涯学習推進ボランティアサークル「まなぼうや」の活動支援等、市民の学習活動を支援するためのきっかけづくりや、学習機会の提供に取り組めるよう助言等することができた。</p> <p><b>【成果 (中央公民館)】</b></p> <p>○新型コロナウイルス感染状況を見ながら、理科好きの子どもを育成するため「ふしぎ発見理科教室」を3回開催することができた。理科実験の体験を通じて子どもの好奇心や探求心が喚起できた。</p> <p>○中高年者の関心が高い「シニアのためのスマートフォン講座」について、今回はドコモに加えてソフトバンクでも開催したところ大変好評で、これまでスマートフォンに縁がなかった中高年の方々に情報社会の便利さを知っていただけた。</p> <p><b>【成果 (図書館)】</b></p> <p>○館内や返却資料の消毒、感染状況にあわせて座席数や滞在時間の調整を行うなどの感染症対策を行いながら開館した。また感染症対策を徹底した上で可能な限り事業を行い、できるだけ多くの市民の方が利用できるよう努めた。</p> <p>○システムの更新による非接触型サービスの充実と利便性の向上を図り、併せて時節に合わせたテーマ架展示事業の実施などを行った。これにより、令和2年度に比べ、貸出資料数が約21%、貸出数が約19%増加した。</p>

○市や図書館LINE、また新聞社を利用した広報に努めた結果、事業の参加者が増加した。

#### 【成果（文化資料館）】

○国際シンポジウム「20世紀の和紙－寿岳文章 人と仕事－」は、当初予定していた令和2年度から延期して開催した。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、海外の登壇者の渡航が困難となったためオンラインでの開催とした。国内外から多数の参加を得ることができ、国際シンポジウム関連特別展及び国際シンポジウム報告会とあわせて、寿岳文章の業績と和紙文化を広く発信することができた。

○古代衣裳関連事業では、向日市まつりでの「大極殿衣裳行列」は新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となったが、古代衣裳公開研修は定員を減らして開催し、古代衣裳を通じて古代の都・長岡京について発信することができた。

○「くらしの道具展」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で小学校団体見学数は少なかったが、ボランティアの会会員による農具の使い方の実演や解説を行い、昔の生活について学習してもらう機会を提供した。

○特別展「日本画家・六人部暉峰の世界」では、向日神社の神宮を代々務めてきた六人部家に生まれ、竹内栖鳳に入門して日本画家となった六人部暉峰の作品や関係資料を紹介した。これまでほとんど知られていなかった六人部暉峰の画業と生涯を掘り起こした画期的な展示として注目され、全国から多くの来場者があった。

#### 【成果（天文館）】

○新型コロナウイルス感染症拡大により休館、投影休止、観望会の中止や講演等の延期など状況に応じて対策を行った。実施できた事業については、子どもから大人まで楽しめる生涯学習の場を提供することができた。また、定員削減やアルコールによる館内の消毒等、感染対策の徹底により、感染を防止できた。

#### 【課題（生涯学習課）】

○生涯学習について、引き続き市民が自主的・自発的に学習活動に取り組めるよう、各課・関係機関が行っている講座の情報について、より見やすい誌面となるよう効果的にとりまとめる工夫が必要である。

#### 【課題（中央公民館）】

○新型コロナウイルス感染拡大を受けて、学習発表会の「展示の部」と「舞台の部」とも開催できなかったため、今後は、開催時期を含めて開催方法について検討する必要がある。

○地区公民館主催の趣味・教養講座について、毎年恒例の講座は、市民の期待や関心が高いことから、今後は、さらに新たな講座の開催も検討する必要がある。

**【課題（図書館）】**

○多様なニーズを把握して、状況にあった資料の購入と提供、また情報を発信することが利用促進につながる。そのためには、府や団体が行う研修会参加や自己啓発などにより、職員の資質能力の向上を図る必要がある。

○非接触型サービスの利用促進のため、ホームページやLINEの随時更新と、広報が必要である。

○インターネットを使わない方の存在も考慮し、事業やサービスを実施することが必要である。

**【課題（文化資料館）】**

○展示事業及び展示に関連する講演会、講座について、今後も、多様なニーズを考慮しながら展示内容の充実と周知方法の工夫を行い、入館者数の一層の増加につなげる必要がある。

○文化資料館の特徴的な取り組みの一つである古代衣裳関係事業は、今後もボランティアと協力・連携しながら外部に向けて発信できる機会を作る必要がある。

○英文学、書誌学、和紙研究、国際交流など他分野にわたる寿岳文章の業績については、学際的な評価が必要であり、今後も専門家とともに調査研究を進め、その成果を広く発信していく必要がある。

○新型コロナウイルスの影響が長引いている中、令和3年度に運用を開始したクラウド型収蔵品管理システム及び同システムに付属するアプリを活用し、非接触型の情報発信を強化していく必要がある。

**【課題（天文館）】**

○天文館の一般投影及び団体利用について、市内の利用が市外に比べ少ない。天文館の存在を広く知ってもらえるよう今後も宣伝活動に努め、利用促進を図る必要がある。

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、プラネタリウムの定員を80名から25名程度に減らしていたが、令和4年6月下旬から新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、定員を少しずつ戻していく予定である。そのため、今後も安心、安全に天文館事業を利用者に楽しんでもらえるよう、感染拡大予防対策を徹底し事業継続に努める必要がある。

**外部評価委員評価及び意見等**

○各施設は、新型コロナウイルス感染症の影響がありながらも様々な工夫をし、可能な限り多くの事業が実施できたことは大変評価できる。

○生涯学習情報誌について、市内公共施設や小中学校に配布後の残数やどういった方が持ち帰っているかなど状況を確認してはどうか。その状況から地域や年齢層によるニーズが把握でき、効果的なPR方法が見つかるのではないか。

○公民館事業の各種の講座について、多岐に渡ってタイムリーで、興味をそそる内容となっており、市民にとって充実した講座内容となっている。参加者に意見を聞きながら、今後においても工夫に努めてほしい。

○図書館のテーマ架展示について、リピートしたくなる事業で非常にいいアイデアである。また、図書館のホームページやLINE情報の案内サービスが開始できたことは評価できる。さらに、感染症対策として、利用者が重ならないよう矢印や席の間隔を空けるなど行き届いた環境づくりがされ、利用者も増えている。引き続き、行きやすくなる雰囲気作りに努めてほしい。

○ミニミニリサイクルコーナーが常設に変更され、常に見直しを行い工夫され改善していくことは、大変評価できる。

○令和2年度にコロナ禍のため延期となった、国際シンポジウム「20世紀の和紙—寿岳文章 人と仕事—」を令和3年度は中止せずに、オンラインにより開催した。国内・海外の研究者や紙の作家を登壇者として迎え、360人と国内外から大変多くの参加者あり、向日市でしかできない、特筆すべき方の業績が発信できたことは、大変意義があったと大いに評価する。

○向日市は若年層が増えてきているので、インターネットの利用率が高い若年層や遠方の方でも受講可能な動画の配信をするなど、向日市独自の文化を伝えるためのオンラインによる開催方法を模索してほしい。

○近隣にない天文館は、向日市が誇れる施設であり、市外の利用者が多いのはPRできているということである。一方、市内の利用者を増やすためには、町内会の行事として取り組んでもらうなど、直接町内会等に訴える形でPRすれば、気に留めてもらえ利用者が増えると期待できるので、様々な方法で周知してほしい。

○各施設に足を運んでもらえるよう、コミュニティーバスである「ぐるっとむこうバス」のアクセス方法についても周知をすれば、市内外問わず多くの利用促進につながると期待できる。

○各施設が行っている事業について、どれも工夫されており大変評価できるが、生涯学習事業の全取組を見渡したとき、それぞれが独立して縦割りで事業が実施されている。向日市の生涯学習事業として各事業を関連付け、連携すれば、向日市の生涯学習について、市民により分かりやすく、深く知ってもらえるきっかけにもなるのではないか。

施策番号	8
施策名	家庭・地域社会の教育力の向上

<p>施策の基本方向</p> <p>家庭教育はすべての教育の出発点であり、その担い手である保護者自身が学ぶための学習機会の充実に努める。また、学校・家庭・地域社会が様々な活動を通して地域の絆を強めるとともに、よりよい社会を創るという目標を共有した上で連携・協働し、地域全体で子どもたちをはぐくむ環境づくりを推進する。</p>
--

事業名	家庭教育講座
事業概要 実績	<p>○家庭及び地域の教育力の向上（基本的な生活習慣の重要性）について、市民への理解を呼びかけ、地域での取組の促進を図ることを目的に開催した。</p> <p>「アサーティブ・コミュニケーション ～わたしも、あなたも大切にすることを目的に開催した。」</p> <p>開催日：令和3年10月7日（木）</p> <p>参加者数：19人</p>
担当課	生涯学習課

事業名	P T Aとの連携・支援
事業概要 実績	<p>○向日市P T A連絡協議会の活動に対する支援・助言を行った。</p> <p>○向日市P T A連絡協議会と教育委員会との懇談会を開催した。</p> <p>○社会教育関係団体に補助金を交付した。</p> <p>交付団体：市立小中学校P T A</p> <p>○向日市P T A連絡協議会との共催による人権研修会を実施した。</p>
担当課	生涯学習課

事業名	地域学校協働活動推進事業
事業概要 実績	<p>○子どもたちの豊かな成長を支えるため、学校や地域の方々と連携・協働し、子どもたちが安心して暮らせる環境づくりを推進した。新型コロナウイルス感染者数の動向を注視し、必要性が高くかつ「向日市地域学校協働活動に係る感染防止対策ガイドライン」を遵守した上でできる事業のみ実施した。</p> <p>実施校：向陽小（H26～）、2向小（H24～）、3向小（H21～） 4向小（H29～）、5向小（H27～）、6向小（H28～） 勝山中（H27～）、西ノ岡中（H25～）、寺戸中（R元～）</p> <p>本部委員：53人</p> <p>内 容：学習支援 向陽小、2向小、3向小、6向小、西ノ岡中、寺戸中 環境整備 向陽小、5向小、6向小</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した学校 4向小、勝山中</p>
担当課	生涯学習課

事業名	放課後児童サポート事業
事業概要 実績	○子どもの安心・安全な居場所づくりを目的に、5時間目終了後から高学年の授業終了までの間、低学年を対象に自由遊び等を感染症対策の徹底を図った上で行った。 実施場所：市内公立小学校 実施回数：16回（年間延べ2,100人） 内 容：グラウンド・体育館での自由遊び、教室での学習支援など
担当課	生涯学習課

事業名	ジュニア・リーダー養成講座
事業概要 実績	○次世代のリーダーとして必要な知識、技術、コミュニケーション能力の習得を目的に、野外活動・講話・実習などの体験学習や集団学習を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
担当課	生涯学習課

事業名	青少年健全育成団体との連携・支援
事業概要 実績	○青少年健全育成団体との連携 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、安全見守りパトロールは、地域や自宅周辺の自主パトロールに変更し実施した。また、市民ふれあいコンサートは、人数制限やタイムスケジュールの調整、移動ルートの設定など新型コロナウイルス感染対策を徹底した上で、無観客ではあったが、市内中学校及び京都西山高等学校の吹奏楽部と京都管楽合奏団 ARTY BEARS が出演し開催した。  ○青少年健全育成団体への補助金を交付した。 交付団体数：4団体  ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業 ○青少年健全育成団体との連携 あいさつ運動、環境浄化活動
担当課	生涯学習課

施策の成果と課題	
【成果】	○家庭教育講座では、自分のコミュニケーションを見つめなおす機会になった。講座で得た知識を家庭、職場で役立てたいなどの感想があり、市民に対して学習機会を提供することができた。

○地域学校協働活動推進事業については、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施できる事業のみになったが、令和2年度よりも多くの事業を実施することができ、地域と学校との連携、協働を図ることができた。

○P T A・青少年健全育成関係団体の活動の運営及び事業に要する経費の一部を補助することで、社会教育の振興・発展を図るための活動に対する支援を行うことができた。

○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2年間中止していた「市民ふれあいコンサート」は、人数制限やタイムスケジュールの調整、移動ルートの設定等新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、無観客ではあったが開催することができた。参加者からは、他校の演奏が聴けて良かったという声があり、大変好評であった。

○令和2年度に引き続き、向日市P T A連絡協議会と教育委員会との懇談会を開催し、教育行政への理解促進とコロナ禍における保護者の不安解消を図ることができた。

#### 【課題】

○家庭の教育力の向上を図るため、子どもの家庭教育に関する学習機会の提供や、基本的な生活習慣の重要性や現代的課題などの理解促進に向けた取組を継続して推進することが必要である。

○地域全体で子どもたちをはぐくむ環境づくりを推進するため、地域学校協働活動推進事業における人材確保に努めるとともに、P T Aや青少年健全育成関係団体の活動を継続して支援することが必要である。

また、令和5年度からの円滑な導入に向け、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の制度の意義、仕組み等について、地域学校協働本部、P T A等学校関係者に周知する必要がある。

#### 外部評価委員評価及び意見等

○家庭教育は、未就学児期も大切であるので、子育て支援課と連携して、子育て世代、特に未就学児を持つ親も参加してもらえるような講座を企画してはどうか。

○地域学校協働活動について、コロナ禍で実施できなかった学校はあったが、学校や地域の方々と連携し実施できた点が評価できる。

○コロナ禍で様々な制限が続く中、どうすれば開催できるか検討し、無観客ではあったが、市民ふれあいコンサートを開催したことは評価できる。模索し検討を重ねることは、今後のアイデアにもつながるので非常に大切なことである。

施策番号	9
施策名	安心して産み育てる体制づくり

<p>施策の基本方向</p> <p>安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境づくりを推進する。</p>
---

事業名	放課後児童健全育成事業（留守家庭児童会運営事業）																												
事業概要 実績	<p>○放課後などに保護者等が仕事などで不在の小学生に、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図った。</p> <p>①各留守家庭児童会入会児童数（令和3年5月1日現在）</p> <table border="0"> <tr><td>第1留守家庭児童会</td><td>124人（3クラブ）</td></tr> <tr><td>第2留守家庭児童会</td><td>104人（3クラブ）</td></tr> <tr><td>第3留守家庭児童会</td><td>66人（2クラブ）</td></tr> <tr><td>第4留守家庭児童会</td><td>156人（4クラブ）</td></tr> <tr><td>第5留守家庭児童会</td><td>150人（4クラブ）</td></tr> <tr><td>第6留守家庭児童会</td><td>46人（2クラブ）</td></tr> <tr><td>計</td><td>646人</td></tr> </table> <p>②各留守家庭児童会夏季入会児童数（令和3年7月21～8月25日）</p> <table border="0"> <tr><td>第1留守家庭児童会</td><td>17人</td></tr> <tr><td>第2留守家庭児童会</td><td>41人</td></tr> <tr><td>第3留守家庭児童会</td><td>25人</td></tr> <tr><td>第4留守家庭児童会</td><td>20人</td></tr> <tr><td>第5留守家庭児童会</td><td>14人</td></tr> <tr><td>第6留守家庭児童会</td><td>12人</td></tr> <tr><td>計</td><td>129人</td></tr> </table> <p>③指導員研修会の実施 計8回（参加者延べ242人）</p> <p>「消防研修」（4月）</p> <p>「放課後児童クラブについて」（5月）</p> <p>「応急手当講座」（6月）</p> <p>「チームワークの向上」（9月）</p> <p>「障がいのある児童への支援」（10月）</p> <p>「より良い保護者とのコミュニケーション」（11月）</p> <p>「問題事象への対応について」（12月）</p> <p>「コロナ禍での遊びについて」（2月）</p> <p>④施設環境整備</p> <p>建具、畳、網戸、照明などの施設修繕を行った。</p>	第1留守家庭児童会	124人（3クラブ）	第2留守家庭児童会	104人（3クラブ）	第3留守家庭児童会	66人（2クラブ）	第4留守家庭児童会	156人（4クラブ）	第5留守家庭児童会	150人（4クラブ）	第6留守家庭児童会	46人（2クラブ）	計	646人	第1留守家庭児童会	17人	第2留守家庭児童会	41人	第3留守家庭児童会	25人	第4留守家庭児童会	20人	第5留守家庭児童会	14人	第6留守家庭児童会	12人	計	129人
第1留守家庭児童会	124人（3クラブ）																												
第2留守家庭児童会	104人（3クラブ）																												
第3留守家庭児童会	66人（2クラブ）																												
第4留守家庭児童会	156人（4クラブ）																												
第5留守家庭児童会	150人（4クラブ）																												
第6留守家庭児童会	46人（2クラブ）																												
計	646人																												
第1留守家庭児童会	17人																												
第2留守家庭児童会	41人																												
第3留守家庭児童会	25人																												
第4留守家庭児童会	20人																												
第5留守家庭児童会	14人																												
第6留守家庭児童会	12人																												
計	129人																												
担当課	生涯学習課																												

事業名	幼児教育の振興
事業概要 実績	<p>○向日市私立幼稚園設備費補助金 園児に安全で快適な教育環境を提供し、幼稚園教育の振興を図るために、市内私立幼稚園の設置者に対し、私立幼稚園の設備等の充実に係る経費を補助した。 交付：市内3園 630,000円（1園当たり210,000円）</p> <p>○向日市私立幼稚園教材教具購入補助金 在籍する園児の保護者負担の軽減を促進するとともに、幼稚園教育の振興を図るために、市内私立幼稚園の設置者に対し、私立幼稚園の教材教具の購入に係る経費を補助した。 交付：市内3園 270,000円（1園当たり90,000円）</p> <p>○乙訓私立幼稚園協会教育研究補助金 乙訓私立幼稚園協会が実施した教育研究事業に係る経費を補助することにより、市内に設置された私立幼稚園における幼稚園教育の振興を図ることができた。 交付：195,000円（1園当たり65,000円）</p> <p>○向日市私立幼稚園特別支援教育振興補助金 障がいのある幼児の円滑な受入れを推進し、教育の充実に図り、適切な保育環境を提供するために、市内私立幼稚園の設置者に対し、障がいのある幼児の特別な教育的支援の実施に要する人件費を補助した。 交付：市内3園 総額 2,254,000円（23人：補助単価98,000円）</p> <p>○向日市私立幼稚園児教材費補助金・向日市私立幼稚園入園補助金の所管替え 利用者の利便性及び事務の効率化を図るため、幼保無償化に係る給付に必要な情報を1か所に集中させて業務を行うために、令和3年度に子育て支援課に事務を移管した。</p>
担当課	教育総務課

施策の成果と課題	
<p><b>【成果（生涯学習課）】</b> ○留守家庭児童会では、入会要件を満たす児童を全て受け入れたことで、保護者のニーズに応えることができた。また、照明の修繕時には、LEDに変更し順次、省電力化が図れた。</p> <p><b>【成果（教育総務課）】</b> ○私立幼稚園の設備、備品の整備を促進するとともに教職員の教育研究事業等を支援することにより、幼稚園教育の振興を図ることができた。</p>	

障がいのある幼児を受け入れる私立幼稚園を支援することにより、障がいのある幼児の就園促進及び教育の充実を図り、適切な保育環境の提供を推進することができた。

**【課題（生涯学習課）】**

○児童が安心・安全に過ごすことができ、保護者も安心して就労することができるよう、各留守家庭児童会において引き続き指導員の確保及び環境整備に努める必要がある。

**【課題（教育総務課）】**

○幼児教育の重要性を踏まえ、私立幼稚園児の保護者の経済的負担の促進するため、引き続き私立幼稚園の設置者に対して補助金の支給を行い、幼稚園教育の振興を図る必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○留守家庭児童会では、コロナ禍の中でも6年生までを対象に夏季入会も含め、入会要件を満たすすべての児童を受け入れ、働く保護者のニーズに応えることができていることは評価できる。今後、入会児童数の推移を見据え、指導員体制や施設整備について検討を重ね、引き続き、入会対象児童が受け入れられるように努めてほしい。

○指導員研修会について、多岐に渡り必要な内容の研修が実施されていると評価できる。今後においても、適時適切に研修を実施し、一層の指導員の育成に努めてほしい。

○就学前幼児の窓口業務について、子育て支援課に業務を移管し一本化したことは、市民にとっても分かりやすくなり良くなったと評価できる。

○幼稚園設置者に対する補助金では、適切に予算配分されており、また、幼稚園で必要なものが購入でき活用しやすい補助金である。引き続き、幼稚園教育の振興に努めてほしい。

施策番号	10
施策名	スポーツの振興

施策の基本方向  
 市民が健康で心豊かに暮らせるよう、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実に努める。

事業名	各種スポーツイベントの開催
事業概要 実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止された。 ○市民総合体育大会 ○スポーツ交流フェア ○スポーツランド
担当課	生涯学習課

事業名	市民体育館の管理運営
事業概要 実績	○平成18年度から指定管理者制度を導入し、令和3年度から5年間の指定管理者に（公財）向日市スポーツ文化協会を指定している。 ・体育室稼働率：78.7% ・トレーニング室利用者：13,537人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた対応 体育館：令和3年4月25日（日）～5月11日（火）休館 令和3年5月12日（水）～5月31日（月） 土日のみ休館、平日は19時に短縮 令和3年6月1日（火）～6月20日（日）20時に短縮 令和3年8月17日（火）～9月30日（木）20時に短縮  ○平均台用着地マット、バレーボール審判台（4台）を購入した。  ○新型コロナウイルス感染症対策のため、更衣室及び会議室用の空間除菌清浄機（5台）を購入した。
担当課	生涯学習課

事業名	スポーツ指導者育成
事業概要 実績	○スポーツ推進委員の育成 研修会の開催（毎月1回）、スポーツイベントへの派遣など
担当課	生涯学習課

事業名	学校等体育施設開放事業
事業概要 実績	<p>○社会体育の振興を図るため、学校等体育施設の開放を行った。また、「新しい生活様式に基づく向日市立学校等体育施設使用ガイドライン」を使用する団体に配布し、感染症対策の徹底を図った。</p> <p>・使用回数 小学校 体育館：1, 150回 グラウンド：1, 069回 中学校 体育館・武道場：604回 向日町競輪場スポーツ施設：619回</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた対応</p> <p>小学校体育館・グラウンド</p> <p>令和3年4月25日（日）～6月20日（日）貸出中止 令和3年8月 2日（月）～8月16日（月）21時に短縮 令和3年8月17日（火）～9月30日（木）貸出中止 令和3年10月1日（金）～10月21日（木）21時に短縮 令和4年1月27日（木）～3月21日（月）貸出中止</p> <p>中学校体育館</p> <p>令和3年4月25日（日）～6月20日（日）貸出中止 令和3年8月17日（火）～9月30日（木）貸出中止 令和4年1月27日（木）～3月21日（月）貸出中止</p> <p>向日町競輪場</p> <p>令和3年4月25日（日）～6月20日（日）貸出中止 令和3年8月17日（火）～9月12日（日）20時に短縮 令和3年9月13日（月）～9月30日（木）貸出中止</p>
担当課	生涯学習課

施策の成果と課題	
<p><b>【成果】</b></p> <p>○学校等体育施設の有効活用や（公財）向日市スポーツ文化協会の各種スポーツ教室の開催などにより、スポーツを行う機会を提供することができた。</p> <p>○老朽化した市民体育館の平均台用着地マット、バレーボール審判台を購入したことにより、安全面の確保ができ、また競技スポーツの向上にも寄与した。</p> <p>○更衣室及び会議室用の空間除菌清浄機を購入したことにより、新型コロナウイルス感染症対策強化に取り組んだ。</p> <p>○「新しい生活様式に基づく向日市立学校等体育施設使用ガイドライン」を配布し徹底を求めることにより、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた学校施設の貸出しを行うことができた。</p>	

**【課題】**

○自らの意欲や健康状態に応じて、誰もが気軽にスポーツに取り組めるよう、引き続き（公財）向日市スポーツ文化協会や関係機関・団体と連携して事業に取り組み、幅広い年齢層の方々にスポーツに接することができる機会を提供し、スポーツの実施率の向上などを図る必要がある。

○令和3年3月策定の「向日市スポーツ推進計画」に基づき、市民が健康で心豊かに暮らせるよう、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実を図っていく必要がある。

**外部評価委員評価及び意見等**

○新型コロナウイルス感染防止のため、各種スポーツの開催が中止を余儀なくされたことは、残念であった。コロナ禍で厳しい状況ではあるが、感染症対策を徹底した上で、可能な限り実施することを期待する。

○ラジオ体操やウォーキングは、誰でも気軽に参加できるスポーツなので、今後も継続して行われるよう、また、参加者を増やすことができるよう、市民の健康推進とスポーツに親しめる環境づくりに努めてほしい。

○体操競技、新体操の大会会場として、都道府県レベルの施設環境が整備されている市民体育館において、平均台用着地マットを購入したことは評価できる。他団体などからの支援・協力も検討し、より一層の体操競技、新体操の普及・充実に努めてほしい。

施策番号	11
施策名	多様性を認め合う社会の実現

<p>施策の基本方向</p> <p>市民が生涯のあらゆる場や機会を通じて、人権尊重の理念や、同和問題など様々な人権問題についての正しい理解と認識を深めるとともに、実践につながる自発的な学習活動の促進と、その啓発に努める。</p>
--

事業名	人権研修会
事業概要 実績	<p>市民がそれぞれの状況に応じて、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるよう、人権について学ぶ機会として開催した。</p> <p>第1回「人権尊重の社会をめざして ～同和問題をはじめとした人権教育について考える～」</p> <p>開催日：令和3年8月4日（水） 参加者数：26人</p> <p>第2回「スマホ時代の子ども達に大人ができること ～皆で防ごう！ネットトラブル・人権侵害～」</p> <p>開催日：令和3年12月23日（木） 参加者数：23人</p>
担当課	生涯学習課

施策の成果と課題	
<p><b>【成果】</b></p> <p>○同和問題とネットトラブルについて講演を開催した。参加者のアンケートでは、同和問題について、「講師の実体験を踏まえた内容でわかりやすかった」との声があり、参加者に同和問題解決に向けて考えていただくきっかけを作ることができた。</p> <p>ネットトラブルについては子ども達の人権問題だけでなく、成人、保護者にとっても注意を促される内容だったため、自他ともに被害にあわないために参考となる時間となった。</p> <p>○第1回・第2回ともに、新型コロナウイルス感染症対策として、定員を60名から30名に減らした他、前列にアクリル板を設置し、当日の検温・消毒、参加者のマスク着用、座席間の距離の確保を保つなど、できる限りの対策を行い、実施することができた。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○より多くの市民に参加してもらえるよう、市民に身近なテーマの選択や周知方法等を工夫する必要がある。</p>	

## 外部評価委員評価及び意見等

○人権研修について、コロナ禍という制約が厳しい状況ではあったが、様々な感染症対策を講じた上で実施されている。今後は、開催の曜日や時間なども含め、誰でも参加できるよう工夫して実施してほしい。

○高齢化に伴い、認知症等により判断能力が不十分となる高齢者が増え、成年後見人制度を利用する方も増えている状況がある。高齢者の人権が侵害されることのないよう、高齢者も含めた人権研修について検討してほしい。

施策番号	12
施策名	歴史・文化資源の整備と活用

施策の基本方向  
文化財の保護及び積極的な整備や活用に努め、歴史・文化資源を未来に継承する。

事業名	有形文化財の保護と活用事業
事業概要実績	<p>○美術工芸品の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 市指定文化財の維持管理に要する経費を補助する。</li> <li>・補助等 1事業者 1事業 292,000円</li> </ul> <p>○建造物の保全整備と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 国登録有形文化財旧上田家住宅を保存修理し活用を図る。</li> <li>・内容 平成28年度に史跡長岡宮跡買上事業に係り寄附を受けた農家住宅の活用について実施設計に基づき整備工事を実施した。令和3年11月23日に史跡長岡宮跡、旧上田家住宅整備工事竣工式を実施し一般公開を開始した。会議や催し物の会場として主屋等の貸室業務も実施している。また、案内員を配置し、来訪者への案内解説を実施した。</li> <li>・開園日数 121日</li> <li>・来訪者数 1,570人</li> <li>・一日平均 12.98人</li> <li>・累計来訪者数 1,570人</li> </ul> <p>○建造物の防災設備維持管理補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 国及び京都府指定等文化財（建造物）の修理や防災設備維持管理、災害普及等に要する経費を補助する。</li> <li>・補助等 3事業者 3事業 322,000円</li> </ul> <p>○建造物の防火・防犯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 国及び京都府指定等文化財（建造物）の適切な管理を図るため、文化財火災予防運動の期間中に、広報活動、消防訓練、消防設備の点検立入検査等を実施する。</li> <li>・訓練 令和4年1月23日（日） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</li> <li>・検査 令和4年1月25日（火） 指定文化財及び登録文化財の建造物に立ち入り、消防設備の点検及び防火意識の高揚を図った。</li> </ul>
担当課	文化財調査事務所

事業名	史跡の保護と活用事業
事業概要 実績	<p>○史跡の保全整備と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 史跡長岡宮跡を保存修理し活用を図る。</li> <li>・内容 平成28年度に買い上げた史跡長岡宮跡について実施設計に基づき整備工事を実施した。同地は、国登録有形文化財旧上田家住宅でもあり、国の指定史跡「長岡宮跡」と国登録有形文化財旧上田家住宅の保存と活用を図り、市民文化の発展に寄与することを目的とする。令和3年11月23日に公開を開始した。</li> </ul> <p>○史跡等の文化財保存団体への補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 市内に所在する史跡等の保存団体が実施する文化活動に要する経費を補助する。</li> <li>・補助等 1団体 19,000円</li> </ul> <p>○史跡指定地等文化財用地の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 史跡指定地等の文化財用地の清掃、除草、樹木の剪定、生垣刈込等を実施し、史跡環境の保全に努める。</li> <li>・内容 文化財用地11か所において、延56回の維持管理作業を実施した。</li> </ul> <p>○史跡乙訓古墳の群維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 史跡指定地等文化財用地の中でも史跡乙訓古墳群の五塚原古墳(37,242.22㎡)及び寺戸大塚古墳(4,380.14㎡)は、令和元年3月に取得し保全状況も十分でないため、境界付近の危険木の枝払い作業を実施し、史跡環境の保全に努める。</li> <li>・内容 寺戸大塚古墳は、タケノコの除去や竹の間伐を実施した。五塚原古墳は、前面道路等隣接地に伸びた樹木の伐採を実施した。</li> </ul>
担当課	文化財調査事務所

事業名	埋蔵文化財の保護と活用事業								
	<p>○開発等に係る埋蔵文化財の審査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 市内の周知の埋蔵文化財包蔵地内で実施される開発等を審査し、必要な場合は保存措置を行う。</li> <li>・件数 <table border="0"> <tr> <td>開発、まちづくり条例に係る文化財審査</td> <td>44件</td> </tr> <tr> <td>建築確認申請に係る文化財審査</td> <td>248件</td> </tr> <tr> <td>埋蔵文化財発掘届出書受理</td> <td>219件</td> </tr> <tr> <td>埋蔵文化財発掘通知書受理</td> <td>17件</td> </tr> </table> </li> </ul> <p>○埋蔵文化財発掘調査等事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 長岡京跡ほか本市の特色ある埋蔵文化財を保護するため各種の調査を実施する。</li> </ul>	開発、まちづくり条例に係る文化財審査	44件	建築確認申請に係る文化財審査	248件	埋蔵文化財発掘届出書受理	219件	埋蔵文化財発掘通知書受理	17件
開発、まちづくり条例に係る文化財審査	44件								
建築確認申請に係る文化財審査	248件								
埋蔵文化財発掘届出書受理	219件								
埋蔵文化財発掘通知書受理	17件								

事業概要 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発掘調査 31件 4,776.50㎡</li> <li>・立会調査 190件 (埋蔵文化財詳細分布調査)</li> <li>・出土遺物 86箱</li> </ul> <p>○埋蔵文化財出土遺物保存処理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 埋蔵文化財発掘調査出土品で、歪みや変形、腐食等により現状の保管ができない遺物を科学的処理し恒久的に保存する。</li> <li>・種別等 長岡京跡ほか埋蔵文化財発掘調査出土遺物 京都府指定文化財 (考古資料) 物集女車塚古墳出土 矛身 3点 物集女車塚古墳出土 石突 3点 物集女車塚古墳出土 大刀 4点 物集女車塚古墳出土 小刀 5点</li> <li>・処理方法 鉄製品 アルカリ性水溶液含浸 銅製及び青銅製 ベンゾトリアゾール溶液含浸</li> </ul> <p>○埋蔵文化財出土遺物整理分類事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 飽和状態にある埋蔵文化財出土遺物を適切に管理するため、国や府の基準に基づき分類整理する。</li> <li>・内容 埋蔵文化財発掘調査等の出土遺物を活用度に応じA～Dの四種類に分類し、データベースを作成した。</li> <li>・成果 令和3年度コンテナ 29箱 302点 (点数は活用できるA. B分類のみ) 累計コンテナ 12,023箱 累計遺物個体数 73,309点 (点数は活用できるA. B分類のみ)</li> </ul>
担当課	文化財調査事務所

事業名	文化財の広報普及事業
事業概要 実績	<p>○史跡長岡宮跡朝堂院公園公開・説明事業 (平成22年6月22日 開所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 史跡整備を実施した長岡宮跡朝堂院西第四堂地区に設置した案内所に案内員を配置し、史跡来訪者に対し史跡及び市内の歴史・文化遺産の案内解説を行い、史跡の一層の活用と地域振興・観光振興に寄与する。</li> <li>・開園日数 340日</li> <li>・来訪者数 4,578人</li> <li>・1日平均 13.46人</li> <li>・累計来訪者数 81,978人</li> <li>・その他 市内小学校の学年、クラス単位の地域学習や教職員研修の場として朝堂院公園を活用した。</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催名 よみがえる長岡寺～山城遷都で変貌する古代寺院～</li> <li>・期間 令和3年6月19日(土)～7月25日(日)</li> <li>・来館者 1,050人</li> <li>・講演会 開催日 令和3年7月3日(土) 演題 古代寺院からみた国家と地域社会 参加者 40人</li> <li>・その他 新型コロナウイルス感染防止のため、1回あたり40人に入場制限をして開催した。</li> </ul> <p>○埋蔵文化財等保管資料の活用</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・出土遺物等資料の貸出</td> <td style="text-align: right;">4機関に</td> <td style="text-align: right;">28点</td> </tr> <tr> <td>・写真資料提供、掲載等承諾</td> <td style="text-align: right;">10機関に</td> <td style="text-align: right;">52点</td> </tr> <tr> <td>・保管資料の調査・見学対応</td> <td style="text-align: right;">3機関に</td> <td style="text-align: right;">122点</td> </tr> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業</p> <p>○史跡長岡宮跡朝堂院西第四堂復元・体感具「ふわふわ!朝堂 in」の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 史跡長岡宮跡の適切な保全と、広報普及等の活用を促進するため、空気で膨らませることができる塩化ビニル製の朝堂院西第四堂を作成し活用し、史跡長岡宮跡の広報普及を図る。</li> </ul> <p>○古代衣装の貸出(長岡京期の衣装 男女各4着)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所 朝堂院公園案内所</li> </ul> <p>○史跡乙訓古墳群物集女車塚古墳石室一般公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 良好な形で現存し、保全整備工事が終了した物集女車塚古墳の横穴式石室を広く公開し、史跡乙訓古墳群への理解を得る。</li> </ul>	・出土遺物等資料の貸出	4機関に	28点	・写真資料提供、掲載等承諾	10機関に	52点	・保管資料の調査・見学対応	3機関に	122点
・出土遺物等資料の貸出	4機関に	28点								
・写真資料提供、掲載等承諾	10機関に	52点								
・保管資料の調査・見学対応	3機関に	122点								
担当課	文化財調査事務所									

施策の成果と課題	
<p><b>【成果】</b></p> <p>地域の特色ある歴史・文化遺産を活かし、展示や講座・講演会、地域学習など多くの事業を実施し、文化財の活用促進を行うことができた。</p> <p>令和3年度は、史跡長岡宮跡に所在する、国登録有形文化財旧上田家住宅の一般公開を11月23日(火)から開始した。配置した案内員による史跡長岡宮跡の解説他、会議や催し物の会場として主屋等の貸室業務を行い、約5か月で1,570人の来館及び利用者があった。</p> <p>これらの結果、市民の文化財保護への理解を深め、地域愛を育み、文化財を核とした地域振興、観光振興に寄与することができた。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○本市に所在する特色ある歴史・文化遺産は史跡乙訓古墳群を始め、史跡長岡宮跡や重要文化財を有する向日神社が主体となる。しかし、市内外への周知度は必ずしも十分ではない。地域の歴史を物語る財産、後世に残したい宝として市民の共通の認識をつくれるよう</p>	

な保護施策と、価値を高め広く認知されるよう多様な活用施策ならびに、積極的な情報発信を引き続き行っていく必要がある。

○まちづくりに文化財を活かし、地域が一体となって歴史・文化資源の継承に取り組んでいくため、文化財の計画的な保存と活用の促進を図っていく必要がある。そのため、京都府が策定した「京都府文化財保存活用大綱」を参考に、地域住民の意見を反映した「向日市文化財保存活用地域計画」や「史跡乙訓古墳群保存活用計画」を策定する必要がある。

#### 外部評価委員評価及び意見等

○令和3年11月23日に公開した、国指定史跡の「長岡宮跡」と国登録有形文化財旧上田家住宅は、催し物や貸室業務に加え飲食ができるという点は大変珍しい。この文化財は非常に価値があり大変評価できる。この旧上田家住宅を起点に、向日市の文化財や歴史などを市民に発信して行ってほしい。

○地域の方が知る向日市の昔の暮らしについて、例えば、洗濯時に使用していた、洗濯板の代わりに石が市内に存在することがある。教育委員会において、そういった文化や歴史が辿れ、途絶えることがないように、後世に伝承できる仕組み作りを検討してほしい。

#### IV 外部評価委員の総評

令和3年度の各事業について、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、中止せざる得ない事業はあったが、様々な制限がある中でも、「コロナ禍だから中止」、「コロナ禍が収束すれば元にも戻す」という発想ではなく、「コロナ禍でも何かできることはないか」、「コロナ禍が収束しても、単に元に戻すのではなく、その経験を活かして新たな取組をしよう」という考え方に立ち、日々の努力、工夫により様々な取組が展開され、事業の実施に向け尽力されていることが認められ、全体的に評価できる。

とりわけ、子どもたちの一生の思い出である修学旅行や体育祭などの学校行事について、検討を重ね全学校がやり遂げたことは、大いに評価できる。

コロナ禍の状況は続くと考えられるので、この姿勢は今後も貫いてほしい。

生涯学習事業において、それぞれが独立した縦割りの事業になっており、横のつながりが必要である。生涯の各時期における多様な学習機会の提供や主体的、自発的な学習活動を支援するためには、向日市の生涯学習事業として各事業を関連付け、連携することが大切である。

また、子どもたちが未来の創り手となるために必要な資質・能力を育み、より良い学校教育を通してより良い社会を創るために、それぞれの地域や学校の特色が生かせるコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）の実現を目指し、地域学校協働本部と学校運営協議会が両輪として効果的に機能するよう、教育委員会が主導し、導入に向け準備を進めてほしい。

今後も、教育委員会全体で「第2次ふるさと向日市創生計画」に基づき、魅力ある向日市の教育の推進に尽力されたい。